

官報號外

明治三十八年二月五日 日曜日

印 刷 局

○第二十一回衆議院議事速記録第十二號

明治三十八年二月四日(土曜日)午後一時十七分開議

議事日程 第十二號 明治三十八年二月四日

午後一時開議

第一 臺灣銀行ニ於テ發行スル銀行券ノ偽造變造等ニ關
スル法律案(政府提出貴族院送付)

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 耕地整理法中改正法律案(政府提出貴族院送付)

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五 船舶法中改正法律案(政府提出貴族院送付)

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第七 船舶職員法中改正法律案(政府提出貴族院送付)

第八 司法官試補實地修習期間減縮ニ關スル法律案

第九 (政府提出貴族院送付) 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十 古物商取締法中改正法律案(政府提出貴族院送付)

第十一 質屋取締法中改正法律案(政府提出貴族院送付)

第十二 北海道一級町村及二級町村ヲシテ租稅外國庫歲入ヲ徵收セシムル法律案(政府提出)

第十三 地租條例中改正法律案(政府提出)

第十四 不動產登記法中改正法律案(政府提出)

第十五 輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案(政府提出)

第十六 砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

第十七 鑄業法案(政府提出)

第十八 遠洋漁業獎勵法改正法律案(政府提出)

第十九 災害地地租免除ニ關スル法律案(武富外三名提出)

第二十 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十一 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十二 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十三 行政執行法中改正法律案(森鑑外一名提出)

第二十四 狩獵法中改正法律案(森鑑外一名提出)

第二十五 民事訴訟法中改正法律案(木村格之輔提出)

第二十六 刑事訴訟法中改正法律案(十名提出)

第二十七 國有土地森林原野下戻申請期間ニ關スル法律案(西新作外二名提出)

第二十八 關スル法律案(宮古啓三郎外四名提出)

第二十九 第一讀會ノ續(委員長報告)

第三十 第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(松田正久君) 開議致シマス、新潟縣新潟市選出丸山嵯峨一郎君ハ、本日始メテ登院致サレテ、百十五番ニ著席ニナシテ居リマスカラ、御紹介ヲ致シマス
(丸山嵯峨一郎君起立)
(拍手起立)
(書記朗讀)

○議長(松田正久君) 諸般ノ報告ヲ致シマス
桂内閣總理大臣ヨリ左ノ通牒アリタリ

政府委員被仰付

大藏省所管事務政府委員被仰付

政府ヨリ左ノ議案ヲ提出セラレタリ

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

貴族院ヨリ左ノ政府提出案ヲ送付セラレタリ

薬品營業並藥品取扱規則中改正法律案

船舶法中改正法律案

船舶職員法中改正法律案

司法官試補實地修習期間減縮ニ關スル法律案

第一讀會ノ續(委員長報告)

大藏省參事官 吉村源太郎君

第一讀會ノ續(委員長報告)

衆議院議員選舉法中改正法律案

提出者 渡邊修君

中倉万次郎君

島津真知君

富島暢夫君

森田卓爾君

早速整爾君

衆議院議員選舉法中改正法律案

渡邊修君

星野仙藏君

島津良知君

富島暢夫君

森田卓爾君

早速整爾君

衆議院議員選舉法中改正法律案

大津淳一郎君

島津貞知君

福井淳一郎君

森田卓爾君

早速整爾君

衆議院議員選舉法中改正法律案

佐々木大岡

島津萬次郎君

中村精一郎君

森田卓爾君

早速整爾君

衆議院議員選舉法中改正法律案

大石正己君

島津萬次郎君

板東勘五郎君

森田卓爾君

早速整爾君

衆議院議員選舉法中改正法律案

小澤愛次郎君

島津萬次郎君

藤金作君

森田卓爾君

早速整爾君

衆議院議員選舉法中改正法律案

神崎東藏君

島津萬次郎君

須見千次郎君

森田卓爾君

早速整爾君

衆議院議員選舉法中改正法律案

河野廣中君

島津萬次郎君

田口卯吉君

森田卓爾君

早速整爾君

衆議院議員選舉法中改正法律案

渡良瀬川沿岸地方特別地價修正施行ノ結果ニ關スル質問

三郎君

島津萬次郎君

早速整爾君

衆議院議員選舉法中改正法律案

佐々木大岡

島津萬次郎君

大戸復三郎君

島津萬次郎君

早速整爾君

衆議院議員選舉法中改正法律案

佐々木大岡

島津萬次郎君

佐々木大岡

島津萬次郎君

早速整爾君

衆議院議員選舉法中改正法律案

佐々木大岡

島津萬次郎君

佐々木大岡

島津萬次郎君

早速整爾君

衆議院議員選舉法中改正法律案

佐々木大岡

島津萬次郎君

佐々木大岡

島津萬次郎君

早速整爾君

右及答辯候也
明治三十八年二月三日

大藏大臣男爵曾禱荒助

衆議院議長松田正久殿

北海道一級町村及二級町村ヲシテ租稅外國庫歲入ヲ徵收セシムル法律案

○議長(松田正久君) 諸君ニ御詣リテ致シマス、永島龜代司君、榎本次郎右衛門

君ハ本月一日ヨリ、景山甚右衛門君ハ本月二日ヨリ二週間、澤田佐助君ハ本月一

日ヨリ十日間、本出保太郎君昨ハ三日ヨリ二週間、何レモ病氣ノタメ請暇ノ申出ニナ

リマシタ、許シテ御異議アリマセバ

○議長(松田正久君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、許可スルコトニ致シマス——江藤新作君

○江藤新作君(二百十九番) 本員ハ此場合ニ樞密顧問官副島伯ニ對シテ、本院ヨリ弔詞ヲ呈シタトイ云フ、希望ヲ持テ居リマスカラ……

○議長(松田正久君) 江藤君、演壇ニ御登リナサイ

(江藤新作君登壇)
○江藤新作君(二百十九番) 諸君、本員ハ、明治ノ元勳、一代ノ鴻儒、副島伯ノ薨去ニ對シマシテ、衆議院ヨリ弔詞ヲ呈シタトイ存ジマスカラ、聊カ其理由ヲ述ベマスル、其理由ヲ述ベマスルニ先チマシテ、弔詞ノ原文ヲ讀ミマス

○衆議院ハ國家ニ勳功アル樞密顧問官正一位勳一等伯爵副島種臣君ノ薨去ヲ聞キ哀悼ノ至ニ堪ヘズ茲ニ恭ク弔詞ヲ呈ス

○斯ノ如キ原文デアリマス、御承知ノ通ニ、伯ハ夙ニ勤王ノ大義ヲ唱へ、維新ノ際忽子聖明ノ鑒ニ依リマシテ、重要ノ職ニ就カレマシテ、伯ノ國事ニ盡瘁セラレタル功績ハ、諸君子御承知ノ通テアリマス、殊ニ其中二三ノ著シキモノヲ舉ゲマスレバ、維新ノ初ニ政體ト稱スルモノヲ制定セラレマシテ、ソレハ今日ノ司法、立法、行政、二權鼎立ノ基礎ヲ定メラレマシタモノアリマス、遙ニ今日ノ立憲政治ノ基ヲ成シクト言ツテモ、溢美アナルウテ、大ニ帝國ノ面目ヲ發揮セラレマシタ云フモノハ、殊ニ伯ノタメニ、其功ヲ稱揚シナケレバナラヌト思ヒマス、伯が外務卿在職中ニ祕露ノ商船ガ支那ノ賣奴ヲ搭載シマシテ、横濱ニ寄港シマシタキニ、賣奴即チ奴隸ノ賣買ト云フコトハ、人道ノ禁ズルトコロデアルト云フノデ、伯が斷然國ノ權力ヲ以テ、其奴隸ヲ解放シテシマシタ云フコトハ、非常ナ英断デアズ、此事柄ハ忽チ國際談判ヲ惹起シマシテ、大ニ折衝ヲ盡サレマシタガ、見事ニ我國ノ勝利ニ歸シタ云フコトハ、當時世界列國ノ此幼稚ナル國ノ外交ガ斯ノ如キ勇斷ヲ爲シタ云フコトニ付イテ、驚イタノアリマス、又伯が全權大使トシテ、支那ニ使セラレマシテ多年ノ間列國ノ公使ガ、清廷謁見ノ事ニ付イテ、甚ダ持ア餘シテ居タニモ拘ハズ、初メテ支那皇帝ニ謁見——相當ナル文明ノ儀式ヲ以テ、謁見スルコトヲ得ルニテ、大ニ帝國ノ面目ヲ發揮セラレマシタ云フモノハ、是又伯ノ功勞ト言ハナケレバナラヌノアリマス、殊ニ本院トシテ、伯ニ對シテ相當ノ敬禮ヲ表シタトイ云フノハ、伯ハ民選議院設立ノ建言ヲサレタ同士

衆議院議員選舉法中改正法律案

佐々木大岡

島津萬次郎君

佐々木大岡

島津萬次郎君

早速整爾君

衆議院議員選舉法中改正法律案

佐々木大岡

島津萬次郎君

佐々木大

ト共ニ、建言サレマシタ、我國ニ於テ民選議院ノ公議ヲ唱ヘラレタト言フモノハ、伯ヲ以テ噶矢ト言ハネバナラス、伯ヲ以テ主唱者ト言ハナケレバナラヌノデアリマスルカラ、衆議院ガ、伯ノ薨去ニ對シテ、相當ノ敬意ヲ表スルト云フノハ、相當デアラウト思ヒマスカラ、願クハ滿場一致ヲ以テ、本案ヲ決定セラレントヲ希望致シマス

○議長(松田正久君) 「贊成タキト呼フ者アリ拍手起ル」

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、大石正己君外數名ノ提出案ヲ採用スルコトニ決定致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 然ラバ、採用ニ決シマス——是ヨリ議事日程ニ付イテ會議ヲ開キマス、議事日程第一臺灣銀行ニ於テ發行スル銀行券ノ偽造變造等ニ關スル法律案、此第一讀會ヲ開キマス、朝讀ヲ省略致シマス

第一 臺灣銀行ニ於テ發行スル銀行券ノ偽造變造等ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會

刑法中貨幣ニ關スル犯罪ノ規定ハ臺灣銀行ニ於テ發行スル銀行券ニ之ヲ準用ス

○議長(松田正久君) 發言ガナケレバ、日程第二ニ移リマス

○恒松隆慶君(百五十九番) 九名ノ委員、議長指名ナランコトヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 恒松君ノ動議ノ如ク、本案ハ議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコトニ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉(政府提出、貴族院送付)

第一讀會

耕地整理法中左ノ通改正ス

第一條 本法ニ於テ耕地整理ト稱スルハ耕地ノ利用ヲ增進スル目的ヲ以テ

其ノ所有者共同シテ土地ノ交換若ハ分合、區劃形狀ノ變更、道路、堤塘、畦畔、溝渠、溜池等ノ變更、廢置及之ニ伴フ灌漑排水ニ關スル設備並工事ヲ行

フヲ謂フ

第三十條中「命スルコトヲ得」ヲ「命シ又ハ整理施行發起ノ認可ヲ取消スコトヲ得」ニ改ム

第三十二條ノ一 農商務大臣ハ整理施行ニ關シ其ノ職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第六十六條第二號中「第二十八條第一項」「第二十八條第二項」ニ改ム
○議長(松田正久君) 發言者ナケレバ日程第四ニ移リマス

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○恒松隆慶君(百五十九番) 此案モ九名ノ委員、議長指名アランコトヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 恒松君ノ動議ノ如ク、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルコトニ、御異議ハアリマセヌカ

(三)

「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 異議ガナケレバ、其通決定致シマス

○恒松隆慶君(百五十九番) 第五ヨリ第八マデハ、一括シテ議題トナサンコトヲ望ミマス、同一ノ委員ニ付託シタイト云フノ動議デアリマスガ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

第五 船舶法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會

船舶法中左ノ通改正ス

第十三條第一項中「船舶國籍證書カ滅失又ハ毀損シタルトキハ」ヲ「船舶國籍證書カ滅失若クハ毀損シ又ハ之ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ」ニ改ム

第十四條中「日本ノ國籍ヲ喪失シタルトキ」ヲ「日本ノ國籍ヲ喪失シ若クハ第二十條ニ掲クル船舶トナリタルトキ」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ場合ニ於テ船舶所有者カ抹消ノ登錄ヲ爲ササルトキハ管海官廳ハ一个月内ニ之ヲ爲スベキコトヲ催告シ正當ノ理由ナクシテ尙其手續ヲ爲

ササルトキハ職權ヲ以テ抹消ノ登錄ヲ爲スコトヲ得

第二十三條中「罰金ニ處シ」ノ下ニ「情狀重キトキハ其」ヲ加フ

船舶國籍證書ヲ受有スル日本船舶ニシテ本法施行前ニ第二十條ニ掲クル船舶トナリタルモノニ付テハ第十四條ニ定メタル二週間ノ期間ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第一讀會

第七 船舶職員法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

第一讀會

船舶職員法中左ノ通改正ス

第一條第一項ヲ左ノ如ク改ム

日本船舶ニハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外此ノ法律ノ規定ニ依リ船舶職員ヲ乗組マシムヘシ但シ船舶検査法第一條各號ニ掲クル船舶ハ此ノ限ニ在ラス

第三條ニ左ノ一項ヲ加フ

遞信大臣ハ海拔免狀ノ效力ニ制限ヲ加ヘタルモノヲ授與スルコトヲ得

第四條ニ左ノ一項ヲ加フ

第一號表ニ定ムル免狀ハ命令ノ定ムル所ニ依リ他ノ種類ノ免狀ヲ以テ代用スルコトヲ得

第五條及第六條中「海員試驗」ヲ「試驗」ニ改ム

第七條 左ニ掲クル船舶ニ付テハ命令ヲ以テ其ノ職員ニ關シ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得

一 外國各港間ノミヲ航行スル船舶

二 漁獵其ノ他特殊ノ目的ニ専用スル船舶
特殊ノ構造ヲ有スレ船舶

二 漁獵其ノ他特殊ノ目的ニ専用スル船舶
特殊ノ構造ヲ有スル船舶

第八條 此ノ法律又ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ相當スル船舶職員ヲ乗組マシメサルトキハ船舶所有者、船舶共有ノ場合ニ於テハ船舶管理人、船舶賃貸借ノ場合ニ於テハ賃借人ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス此ノ法律又ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シテ船舶職員ト

爲リタル者、海技免狀ノ行使ノ假停止若ハ差押中其ノ職務ヲ執リタル者又ハ海技免狀ヲ貸付シ之ヲ行使セシメタル者ノ罰亦前項ニ同シ

前條第一項ノ罰則ハ船舶所有者、船舶管理人又ハ賃借人カ法人ナルトキハ其ノ代表者、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ船舶ノ管理ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

九條ノ二 此ノ法律又ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規定ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ船舶検査法第十七條ニ掲クル外國船舶ニ準用スルコトヲ得

附 則
此ノ法律施行前海員名簿ニ登録セラレタル者ハ海技免狀原簿ニ登録セラレタル者ト看做ス
此ノ法律施行ノ際現在スル日本船舶ニハ命令ニ特別ノ規定アルモノヲ除ク
ノ外明治三十八年十二月三十一日迄從前ノ規定ニ依リ船舶職員ヲ乗組マシ
ムルコトヲ得

路航洋遠				航路
船	帆	船	汽	種船類船
五百噸以上	五百噸未滿	二百噸未滿	五百噸以上	五百噸未滿
一等運轉士長	一等運轉士長	一等運轉士長	一機等運轉士長	一機等運轉士長
甲種二等運轉士長	甲種一等運轉士長	甲種一等運轉士長	甲種二等運轉士長	甲種一等運轉士長
-----	-----	-----	-----	-----

○議長（松田正久君） 異議ナケレバ、日程第五及第七ハ同一委員ニ付託スルコトニ
決定致シマス——日程第九

○恒松隆慶君(百五十九番) 此案ハ唯委員ダケハ招へケレバナラヌ、政府ノ説明ガゴザイマセヌ以上ハ、直ニ九名ノ委員、議長指名ヲ願ヒマス

○議長(松田正久君) 第六八、第八アスカ

○恒松隆慶君(百五十九番) 第五ヨリ第八マデハ一括シテ議題ニナシテ居リマスカラ、其問題ヲ九名ノ委員ヲ、議長カラ指名ヲ願ヒタイ

○議長(松田正久君) ソレハ済シテ居リマス――次ニ議事日程第九、司法官試補實地修習期間減縮ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、朗讀ハ省キマス

○司法官試補實地修習期間減縮ニ關スル法律案
(政府提出 質院送付)

第九

司法官試補ノ實地修習期間ハ今後三年間ハ一年六箇月迄ニ減縮スルコトヲ得
○望月長夫君(二百四十六番) 是ハ政府カラ、ドウカ單純ナ挨拶デヤナシニ、尙今後ニ於テ此法律が必要アルト云フ理由ヲ、事實ニ付イテ、御説明ヲ請ヒタイ、即チ提出ノ理由

(政府委員石渡敏一君登壇)

○政府委員(石渡敏一君) 此法律案ハ、三十四年二月法律第五號ト内容形式共ニ同様ナノゴザイマス、デ今日此案ヲ提出致シマシタノハ、三十四年ノ法律第五號ハ、昨年ノ三月ニ其效力ヲ失ヒマシテゴザイマス、サウシマスルト、試補ノ修習年限ハ、一年半ノトコロが構成法ノ二年ニ復リマシタノデ、試補二年――試補ノ修習期限ヲ三年トシテ置キマスルト、ドウモ現在ノ裁判所ノ職員數ヲ充實スルコトガ出來マセヌノデ、ソレデ充實ヲシテ、人民ノ便利ヲ圖ラウトスルノデ、ヤハリ他三方法ガナイ、司法官試補實地修習期限ヲ短縮スルノガ宜カラウト云フノデ、此案ヲ提出シマシタノデ、ドウカ賛成セラレントラ希望致シマス

○望月長夫君(二百四十六番)

續イテ質問、今ノ御説明ニ依ルト、若シ試補ノ修習年限ヲ三年ト致シテ、現今裁判所ニ入用ノ職員ヲ充實スルコトガ出來ナシ、ソレ故ニ尚斯様ナ案が必要アルト、斯ウ云フコトデアルガ、政府ハ構成法ニ定メラレテアル、試補ノ修習年限ノ二年ト云フコトハ、必要デナイト云フコトニナシテ居ルカ、即チ三年タラザルモ、十分ナリト御認メニナシテ居ルノアルカ、若シサウナレバ、此三年ト云フ法律ノ改正案が出て、相當デ、若シ又サウデナクシテ、三年デナケレバ、不十分デアルト云フノナレバ、相當ノ裁判官ヲ補充スル方法ハ、單ニ試補ニ待タズモ、採用ノ方法ハ幾ラモアル、不十分ナモノデモ、今日ハ差支ガナイカラ、今日ハヤハリ不十分ノ裁判官ヲ入レテ、裁判ヲサセルト、斯ウ云フコトニアルト、ソレガドウモ私共、此三年、三年ノ延期ト云フコトニ付イテ、頗ル矛盾シタ如クニ考ヘマスルガ、政府ノ見ルトコロハ、ドウデアルカ、即チ三年ガ不必要デアルナラバ、何故ニ構成法ヲ改正シナシカ、三年ヲ必要デアルト云フナラバ、他ノ手段ヲ講ゼズシテ、不十分ナ者ノ裁判ヲ受ケシメテ宜イト云フノハ、ドウ云フ譯デアルカ、其點ニ付イテ政府ノ明晰ナル御答辯ヲ……

○政府委員(石渡敏一君) 御答シマス、政府ノ見ルトコロデハ、構成法ニ依リマスルト、試補ノ實地修習ハ二年デアルガ、是マデ經過シクトコロノ経験ニ依ルト、ドウモ二年ハ必修ノ方法ニ依テハ、年半デ宜カラ、未ダ斷言ハ出來ヌ、斷言ハ出來ナシガ、云フコトニ付イテ、頗ル矛盾シタ如クニ考ヘマスルガ、政府ノ見ルトコロハ、ドウデアルカ、即チ三年ガ不必要デアルナラバ、何故ニ構成法ヲ改正シナシカ、三年ヲ必要デアルト云フハ報告が出來ヤウト思フ、ドウカ其御積リテ
○谷澤龍藏君(二百七十二番) 政府委員ニ御尋ネシマスガ、此試補デゴザイマス、

試補ヲ先づ拂底ナシテ、此期限ヲ短縮スルト云フコトハ、先づ假ニ宜シトシマシテ、此期限中デゴザイマス、期限中或ハ三箇年ハ復職スルト云フコトヲ、何カ御定メニナルコトが出來ナシテ、今日マテノ如クテ、人が足ラナイト云フ中ニ、試補中ノ一年程ハ、マ

ルテ裁判所ヘ出ル、半年程スルト辯護士ニナルカ、他ニ轉ジテ去テシマフ、斯ノ如クシテ期限ヲ短クシテ居タナラバ、殆ド無用ノモノニ、費用ヲ支出スルコトニナリハシナイカ、デ凡ソニ箇年位ハ就職スルト云フ、約束デモ定メテ置カナケレバナラスト思ヒマスガ、

何カサウ云フコトハ、出來ナノノアリマスカ

○政府委員(石渡敏一君) 唯今ノ御問ノ趣意ガ、チヨット分リマセスデシタガ、

○谷澤龍藏君(二百七十二番) 三箇年程ヲ、就職スル約束ヲシテ置カナケレバ、半

年カニ三箇年經ツト、他ニ轉ジテシマフ、サウスルト費用ダケ費シテ、國家ノ損ニナル

○政府委員(石渡敏一君) 其點ニ付テハ、餘程當局者モ考ヘマシタ、昨年以來先づ此

司法官修習――司法官ノ試補トナル者ニ付イテハ、終身司法官トナルト云フコトノ

先づ誓約ヲサセマスノデ、併ナガラドウモ誓約ヲシマシテモ、罷メル人ガ少々アルノデ、實ハ

困テ居ルノゴザイマス

○議長(松田正久君) 発言者ナケレバ、議事日程第十二移リマス

○議長 第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○恒松隆慶君(百五十九番) 是モ九名ノ委員ヲ、議長ノ指名アランコトヲ希望致シマス

○議長(松田正久君) 御異議がナケレバ、其通決定致シマス

○堀田連太郎君(百九十一番) 議長

○議長(松田正久君) 堀田連太郎君

○堀田連太郎君(百九十一番) 本員ハ茲ニ緊急動議ヲ提出致シタノデ、ソレハ今

日ノ議事日程第十八ニ載テ居リマス鑛業法案ハ、此前回ニ於キマシテ、都合ニ依リテ、

延期シタモノアリマス、之ヲ此場合、日程ヲ變更シマシテ、茲ニ議事ニ上セラレントラ

希望致シマス

(「變更異議ナシ」又「贊成」ト呼フ者アリ)

○堀田連太郎君(百九十一番) 唯今堀田連太郎君ヨリ、議事日程ヲ變更シテ、鑛業法案ノ

議事ニ取扱ルト云フ動議デゴザイマスルガ、御異議ハアリマセメカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議がナケレバ、日程ヲ變更致シマス、鑛業法案ノ第一讀會ヲ繼續シ、委員長ノ報告ヲ致シマス、堀田連太郎君

鑛業法案(政府提出)
(堀田連太郎君登壇)

第一讀會ノ續(報告)

第一讀會ノ續(委員長)

○堀田連太郎君(百九十一番) 此鑛業法案ノ委員會ハ、諸君、御承知ノ通、比較的長時日ヲ要シマシタノデゴザイマス、會ノ開クベキ準備ヲ致シマシタコトガ十回デ、正ニ開

條カラ成立テ居リマス、隨分浩瀚ナルモノゴザイマス、殊ニ數年來朝野ノ問題ニ

ナシテ居リマス、大切な問題ニアリマスルカラ、特別委員モ鄭重ニ審議致シ、尙當局者

モ懇切ニ辯明ヲ致シマシテ、種々ニ練リマシタ結果、第八回目ノ特別委員會デ、決定ヲ致シマシタ、之ヲ細カニ御報道致シマスコトハ、殆ド不可能ト信ズル位、隨分長ウゴザ道致シマス、先ツ此委員會ヲ開キマスニ方リマシテ、免ニ角是ダケノ長イ簡條ニアリマスルカラ、初共ニ或ハ修正ヲシマントコロガ、後ニ至テ抵觸スルヤウナ場合ガ、起ラストモサイマス、ソレデ其大要ヲ申シマスレバ是モ簡條ニ瓦リマスト、數簡條ゴザイマスガ、其中テ隕ラヌカラ、一通り假決定ヲシテ最後ニ前ニ邀シテ本決議ニシヤウデハナイカ、斯ウ云フコトア、即チ議事ノ順序ヲ、右ノ次第二採リマシタ、ソレデ假決定ヲ致シマシタモノガ、本決議ニ至リマシテ、變リマシタ點ハ、一二ゴザイマスルガ、約假決定通ニ、本決議モ終リマシタノデゴザイマス、ソレデ其大要ヲ申シマスレバ是モ簡條ニ瓦リマスト、數簡條ゴザイマスガ、其中テ重モナルモノヲ申シマスレバ、第一條ニ於テ現行法ニアリマスル如クニ、其條文ヲ「試掘採掘及ニ三屬スル事業」ト直シマシタルガ如キ、段々ゴザイマスルガ、是等ハ前申シマスル通、御手塙ニ水鉛鑛、之ヲ加ヘマシタルガ如キ、又第三條ア鑛物ノ定義ニ於キマシテ、廢鑛及鑛滓ト入レマシタルガ如キ、ソレカラ、鑛區ノ區域ニ付イテ、六十万坪ヲ百万坪ト直シマシタルガ如キ、第十四條ニ國ノ鑛業ハ、一切第八條ノ罰ノ規定ヲ除クノ外ハ、悉ク鑛業法案ノ支配ヲ受クルト直シマシタルガ如キ、段々ゴザイマスルガ、是等ハ前申シマスル通、御手塙ニ鑛業法案ニ於テ、重モナル問題トナタモノハ「ツアアリマス、一ハ稅ノ問題、一ハ外國人——個人ナル外國人ニモ鑛業權ヲ許スヤ否ヤト云フ、此一ツノ問題ニアリマス、此二ツノ問題ニ就キマシテハ、少シク時間ハ要シマセウケレドモ、特別委員會中ニ起リマシタル議論ト、ソレカラ如何ナル終局ヲ告ゲタカト云フ事柄ニ付イテ、諸君ノ御清聴ヲ煩ハス點ガ、多々アリマスルト思ヒマスカラ、是ニ就イテハ少シク詳シク申シマス、ソレデ結局稅ノコトハ政府原案通ニナリマシテゴザイマスルカラ、是ハ特別委員會中ノ一ノ波瀾ト見ルニ過ギマセカラ、是カラ其有様ヲ報道致シマス、稅ノコトト、一口ハ申シマシタルカ、是ハ分ケマスルト、無論試掘稅ト採掘稅トアルノアリマス、ソレデ初二假決議ノトキニ、委員會ヲ決定シマシタノハ、八十三條ニアリマスル試掘稅ト云フモノハ、一切無稅ニシマス、即チ削除シテシマフ、ソレカラ採掘稅ノ四十錢トアリマスルノフ、三十錢ト直ス、斯ウ云フコトデ假決議ニアリマシタ、其理由ヲ申シマス、是ニハ無論贊成モ反對モ兩方ゴザイマス、又隨分長ク此議論が鬪ハサレマシタルカラ、ソレヲ一々詳シク此處デ申スコトハ、時間ガ掛リマスカラ、一ツ書ニ致シテ、要點タケラズニ申シマス、ソレデ詰リ八十二條ノ原案維持、即チ八十二條ヲ贊成スル方ノ理由トシテ、各委員カラ述ベラレマシタル其要ナルト云フコトハ、少シク辻棲ノ合ハヌヤウデアリマスガ、是ハ附帶シタ理由トシテ、述ベラレテ居ル、即チ弊害ノ豫防ト云フコトガ、重モナル理由デアル、ソレハ諸君御承知ノ如ク、日本全國ニ於キマシテ、試掘ノ課稅ト云フコトハ、鑛業ノ保護獎勵竝ニ弊害ノ豫防、斯ウ云フコトデアリマス、是ハ稅ヲ課スルト云フコトソレ自身ガ、直チニ鑛業獎勵保護ニリマス、之ヲ占領シテ居ルカタメニ、真正ノ事業ヲ營マウトスル者ニ大弊害ヲ與ヘル、ソレ味カラシテ、弊害豫防ト云フコトヲ意味シテ、課稅法ヲ主張シ、若クハ贊成サレタノデアリマス、ソレカラ次ニハ此行政機關ノ擴張ト同時ニ、收入ノ目的デアル、今日デハ政府

當局者モ種々ニ苦心ハシテ居ルケレドモ、如何ニモ行政ノ機關ニ不備不完ノ點ガアツテ、思フが如ク行屆カヌ、大ニ此行政機關ヲ改良シ、又増大スルノ必要ガアル、就イテハ此目的ヲ達スルニヤハリ一ノ收入ト云フモノヲ、得ナケレバナラスト云フ理由ガ、第一ニナツテ居リマス、ソレカラ是ハ直接ニ、此鑛業法案其物ニ對シテノ理由デヘアリマセヌガ、同ジク理由トシテ數ヘラマスノハ、豫算案トノ關係ナル、既ニ一面ニ於テ、豫算案ハ通過シ、其豫算案中ニ無論此法案ニ依シテ、極メラレルトコロノ稅、非常特別稅ハ勿論ノコト、ソレ等が含マレテ、一面既ニ可決サレテ、此議院ヲ通過シテ居ル以上、茲デ此八三條ノ試掘課稅ト云フモノヲ全廢シ、併セテ採掘稅ノ四十錢ヲ三十錢トスル以上ハ、忽チ茲ニ影響ヲ及ボヌニ依シテ、是ハ原案ニ贊成スベシ、斯ウ云フ議論ニナリマシタ、ソレデ重モ擧ゲマスルト、原案維持竝ニ贊成ノ理由ハ、斯クアリマス、是ニ對シテ修正ヲスルト云フ方ノ理由モ、亦アリマスル、是モイロ／＼ノ方面カラ、議論が出来マシタ、併シ是ヲ約シテ見マスルト、先ツスウナラウト思ヒマス、第一ニハ試掘ノ性質上ヨリ課稅スベキモノノ理由ト云フ議論、ソレカラ第二ニハ、課稅ノ原則カラ、是ヲ以テ課稅スベキモノノ理由テナリ、試掘其卽チ試掘ト云フモノノ、原則カラ、是ハ稅ヲ課スベキモノノ理由テナリ、其議論トシマシテハ、隨分イ物ハ、其字ノ如ク、未ダ利益ノ目的トナシテ居ラナイ、即チ是カラドウナルカ、ヤツテ見ヤウト云フ其物ニアタ、物體トシテ課稅ヲスベキ性質ノモノデナリ、是モ長ク敷衍シマスレバ、ヒマスカラ、深クハ申シマセヌ、即チ試掘ノ性質上、原則カラ課稅スベキモノノ理由ト云フ議論、ソレカラ第二ニハ、課稅ノ原則カラ、是ヲ以テ課稅スベキモノノ理由テナリ、試掘其當局者ノ説明、又是ニ贊成ヲサレタ、其説ノ重モナル原因ハ、試掘地占領ノ弊害ヲ、防禦スルト云フコトニアリマシタ、是ハ其委員會ノ有様ヲ申シマスレバ、絕對ニ是ニ反対スルト云フ人ハ餘ナカツヤウデス、是マデノ如ク無制限無責任ニ、試掘地ヲ勝手放題ニ許シテ置クヤウナコトシテハ、宜シクナイト云フコトハ、各員大概意思ガ一ツアタマヤウニ思ヒマス、併ナガラ此弊害ヲ豫防スルト云フコトノタメニ課稅ヲシテ、此弊害ヲ豫防スルト云フコトハ、根抵ニ於テ面白カラスト云フコトハ、是ハ一面ニ他ノ法文ニ於キマシテ、餘程今度ノ法案ハ、現行條例ニ比ベテ見マスルト、行屆イテ居ル點ガゴザイマスカラ、ソレ等ノ條項カラ持テ來マシテ、即チ行政上ノ取締トシテ、現在ノ如ク試掘地ノ占領ノ弊害ヲ防ぎ得ルト云フコトノ、立論モアタノアリマス、ソレカラ其理由ヲ推擴メ、尙且實際ニ當ツテ、斯様ナル議論モアリマシタ、ソレハ當局者ノ説明ヲシマシタ如ク、試掘地占領ノ弊害ヲ防グニハ、ヤハリ稅ヲ取ルノが最上手段デアル、假ニシテソレハモウ既ニ非常特別稅ノ、試掘ニ付イテモ、二十錢、採掘ニ付イテモ二十錢、之ヲ掛ケタ以上ハ、ソレテ既ニ止ルカ分ラヌ、止メハ直ニナインモノニナツテシマフカラ、ソレデハ目的が達セラレナイト云フ稅トシテ、試掘ニ稅ヲ課スルト云フコトハ、宜シクナインミナラズ、採掘稅ノ二十錢ヲ四十錢ニ増スト云フ理由ハ見出サナイ、ソレテ弊害ヲ防禦スルト云フコトハ、早ヤ既ニ一面ニ於テ、非常特別稅ヲ達セラレテ居ル、或者ハ非常特別稅ハ、其字ノ通、是ハ戰局ガ何時止ルカ分ラヌ、止メハ直ニナインモノニナツテシマフカラ、ソレデハ目的が達セラレナイト云フコトモアリマシタ、ケレドモ此時局ト云フコトハ、前途尚遼遠ト、諸君が見ラル、如クアタベ、俄ニ此稅ト云フモノガ、全廢スルトハ看做シ得ナイモノアルカラ、ヤハリ大ニ試掘地占領ノ弊害ヲ防グダケノ力ヲ持テ居ル、斯ウ云フヤウナ議論モアリマシタ、ソレカラ次ニハ、其豫算案が既ニ通過シタ今日アルカラ云タト云フコトハアルガ、是ハ決シテ法案ヲ讀スル上ニ付イテ、心配ノナイコトアル、ソレハ既ニ前例ニ多々アルノテ、一面豫算案が通過シマシタ後テ、法律ノ方デ變リマシテモ、ソレヲ處分シタ例ハ、多々是マテアルノミナラ

ズ、又法律ノ結果トシテ、豫算三不足ヲ生ジタトキノ場合ハ、ソレドヘ準備シテアルベキ旨アルカラ、其心配ニハ及バナイ、殊ニ此稅額ト云フモノハ、誠ニ僅カデアツテ、或ハ十万ツコヽノモノニアラ、其タメニ大ナル響キヲ生ズベキモノデナイカラ、是ハ差支ナシ反対ノ御議論モアリマシタラ、委員中カラ出テ補フコトガアラウカト存ジマス、是ガ稅ニ付キマシテ波瀾ヲ生ジマシタ其理由デ、ソレデ前申シマスル通、假決定ノ場合デハ、殆ド大多戦テ、試掘稅ヲ全廢シ、竝ニ採掘稅ヲ減額スルト云フコトデゴザイマシタが、本決議ノ場合ニ於キマシテ、原案通ニナリマシタ、但シソレハ委員八名ニ對スル七名ノ少數ヲ修正説ガ潰レマシタノデ、是ヲ御報告致シマス、ソレカラ原案通ニナリマセズ、即チ修正案ヲ以テ委員會ノ決定ヲ致シマシタノガ、第五條ノ削除説アリマス、是モ私ハ委員長ト致シマシテ、冷々淡々ニ特別委員會ノ有様ヲ御報告致スニ止マルノデ、(簡單ニ願ヒマス、會議錄テ分ヅ居リマス)ト呼フ者アリ)承知致シマシタ、ソレデ第五條ヲ削除シナイト云フ、即チ原案ヲ維持スルト云フ 方ニ付イテノ議論、又是ヲ削除スルト云フ方ノ議論、是モ多々ゴザイマスルガ、ソレモ箇條ニ約メマスルト、大凡ツ此範圍ニ止マルダラウト存ジマス、ソレデ原案維持説トシマシテ、第一ノ理由ハ、土地所有權ノ關係、即チ他法律トノ均衡ト云フコトデアリマス、是ハ既ニ議論トシテハ申シマセイデモ、是ケノ項目ヲ舉ケタラバ、事足ルダラウト思ヒマス、此以上申シマセヌ、即チ土地所有權ノ關係、即チ他法律トノ均衡等ニ於テ、獨リ鑛山ノミガ個人ナル外國人ニ採掘サレ得ルト云フ權利ヲ、今與ヘナクテモ、宜イデハナナイカト云フコトニナルノデス、ソレカラ其次ニ、外國人ニ日本ノ鑛業權ヲ壟斷サレハシナイカト云フ懸念ガ、一ツノ議論アツタ、是ニモイロヽく理由トシテ述べラレタ方がゴザイマスルガ、大要申シマスレバ、我幼稚ナル此日本國ニ於テ、而モ鑛業ハ彼外國人ニ較ベマスルト、非常ニマダ幼稚アル、殊ニ日本ノ鑛山ノ價格ト云フモノハ、大變廉イ、今彼等ニ廉ク之ヲ買ハレテ、彼等ニ低利ノ金ヲ以テ、大仕掛ケン仕事ヲサレタナラバ、日本ノ鑛山ト云フモノハ、良所ハ殆ド彼等ニ占領サレハセヌカ、國家ノタメニ甚ダ恐ルベキコトデアルト云フヤウナ議論ニ、歸著スルノアリマス、是ガ第一ノ理由、ソレカラ其次ニハ、協定稅率ノ關係ナドヲ以テ反対サレ、即チ原案ヲ維持サレタノデアリマス、是モ餘り深ク私ガ申シマセイデモ、大概諸君ノ御承知ノコト、思ヒマスルガ、要スルニ是ハ或時ニ於テ、外交上ノ關係等モアリ、且又今日斯ウシナクテモ宣クハナイカ、先づ保留問題トシテ置カウデハナイカト云フ意味ニ、大體歸シマス、是ガ第二、第四トシテハ、是ハ少し勘定スル程ノ值打アリマセヌガ、斯ウ云フ意味ノ議論モ若シ第五條ヲ削除スルト云フコトガ、利益デアリトスレバ、何故ニ政府卒先シテ之ヲ提出シナシカ、議會が進シテ之ヲ提出スルノハ面白クナイ、政府ガ自ラ責任ヲ以テ提出シタナベ格別、先づ今日ハ議會自ラ進シテヤルノヲ、不可トスルト云フヤウナル意味ヲ以テ、原案ヲ維持サレタ説モアリマシタ、マア概シテ申シマスルト、原案維持ノ説ハ、此四點ニ歸著アルヤウデアリマス、ソレカラ反対、即チ削除ヲ可トスル理由トシテ、又多々述ベラレテアリマス也ガ、是モ項目トシテ、一ツ書キニ抜キ舉ゲマスレバ、第一ニ土地所有權ノ關係ヲ言ハレルガ、土地所有權が個人ナル外國人ニ許サレヌカト云ウテ、此鑛業法案ノ、即チ鑛業權ヲ外國人ニ許スト云フコトヲ延バ理由ニハナラヌ、否ナ、寧口他日土地所有權

ヲ外國人ニ許スト云フ、一ツノ階梯ニナルベキ位ノモノアルカラ、更ニ懸念スルニハ及バ
メト云フノガ、一ツノ議論、ソレカラ外國人ニ鑛業權ヲ壟斷サレルト云フヤウナコトハ、是
ハ殆ド不可思議ニ感ズル位デ、如何ニ日本ノ鑛業界ガ幼稚トシマシテモ、左様ナル今
日、日本ノ鑛業界デナイ、是ハ殆ド杞憂ニ屬スル、寧ロ實地ヲ知ラヌ議論デハナイカト
云フヤウナコトヲ以テ反対サレタ、即チ其骨子ガ、更ニ鑛業權ヲ個人ナル外國人ニ許シ
テモ、恐ル、コト無シト云フ議論ニ歸スルノデス、ソレカラ協定稅率ト云フコトニ付キマシ
テハ、サウ云フコトガアルカラシテ、尙以テ此場合、我カラ進ムテ潤大ノ心ヲ以テ彼ニ臨ム
ベシ、斯ウ云フ議論ニナリマス、ソレデ専更ニ第五條ヲ削除スルト云フ場合ガ起ツタノデ
ナク、今將ニ鑛業法案、即チ政府カラ提出シテ、之ヲ法律トシテ、今茲デ摺ヘヤウト云フ
場合デアル、尙以テ此機會ニ於テ窮屈ナル束縛ヲ解イテシマフ方が宜イ、斯ウ云フコトニ
ナリマスルガ、是等ニ就イテハ、隨分議論、明確ナル發議ヲサレタ方ガアリマスガ、之ヲ
事細カニ述ベマスルト、大變時間ヲ費シマスカラ、大綱ニ止メマス、ソレカラ尙利益トシテ
述ベラレタ説ノ中ノ第一ハ、外資ノ輸入ト云フコトニアリマス、是ハ事細カニ申スマデモナ
イ、確カニ外資輸入ノ一ツノ途ナルコトハ分リ切フタコトデ、是ニ就イテモ種々統計ヲ引
キ、或ハ外國貿易ノ關係カラ、緻密ナル研究ヲ遂ゲラレタ、說ヲ立テラレタ方モアリマシ
タガ、大綱ヲ申シテ、私ハ是ニ止メマセウ、ソレカラ次ニハ清韓ニ對スル今ノ我政策トシ
テ、彼ハ大ニ鑛山ヲ開放セシムベシト云フコトヲ以テ、ヤツテ居ルデハナイカ、彼ニ斯ノ如キ
註文ヲ發スル我ニシテ、我ノ方ニ於テハ、少シ都合ガアルカラ、今イケナイト云フヤウナコ
トハ、如何ニモ矛盾シタ、殆ド口ニスルヲモ厭フ位デハナイカト云フ、ナカニ熱心ナル說
モ、是ニ就イテハ出マシタ、即チ之ヲ一言致シマスレバ、清韓ニ對シテハ、既ニ開放主義ヲ
執ツテ、我ハ是ニ臨ンデ居ル場合ニ、第五條ヲ今削除スルコトニ付イテ反対スルト云フコ
トハ、取モ直サズ或意味ニ於テ、閉鎖主義デアル、殆ド矛盾シテ居ルデハナイカ、ト云フ
議論ニナルノアリマス、ソレカラ其次ニハ、此鑛業法案ト云フモノハ、御記憶ノ如ク、第
十六議會ニ出マシテ、貴族院ハ通過シテ、衆議院ニ參リマシタコロガ、日ノ無ナイタメ
ニ議事ヲ終ラズシテ、中止シタノデアリマス、其節ニヤハリ其時ハ、第五條デナク、第四
條デス、第四條ヲ同シ意味ヲ以テ、特別委員會ヲハ削除致シマシタ、其時ノ農商務大
臣平田東助氏ハ、同ジク大ナル反対ヲ唱ヘナカッタ、ソレハ速記錄ニモアリマスシ、私ナド
モ其委員一人トナツテ、親シク其席ニ居リマシテ、其答辯ヲ聽イタノデアリマス、勿論贊
成ト云フ筈ハナイ、是ハ言ハヌノガ當リ前デス、自分ノ辯ヘテ出シタ原案デアルカラ、併ナ
ガラ反対デナイト云フコトダケハ、明カデアタ、其時ナゼナサラナイカト言ウタ委員ノ反問ニ
對シテ、何分會期モ切迫シ、假ニ衆議院ヲ通過シテモ、貴族院ノ議ニ上ルベキ日ガナナイカ
ラ、トテモ駄目ダト云フコトガ一ツ、政府自ラガマダ一定ノ所信ヲ持テ居ラヌト云フコト
ニ歸著スル、サウハ言ヒマセヌガ、サウ云フコトデアタ、即チ要スル三詮議中デアルト云フ、斯
ウ云フコトヲ以テ、先ツ困ルト云フヤウナ答辯ハアリマシタケレドモ、反対ト云フ意味ハ、チ
ヨツトモナカタ故ニ、此度ノ清浦農商務大臣トシテモ、其時ノ内閣ニ列スル一人トシテ、
如何ナル事ヲ言ハレルカト、本員等ハ思ツテ居リマシタガ、ヤハリ同ジ意味ア、寧ロ贊成ニ
近ヅイタル答辯ヲ、サレタノデアリマス、是ハ速記錄ニアリマス通、議院ガ修正ヲシテ、其案
ガ通過シタ以上ハ、政府ハ是ニ對シテ反対ヲシナイト云フコトニアリマシタカラ、委員會ト
云フモノハ、稍、其意味ヲ以テ進行シタノデアリマス、既ニサウ云フ次第柄デアルカラ、政府ガ
自ラ之ヲ出スト云フコトヲ、待ツ待タスト云フヤウナコトハ、問題トナラス、議會自ラ之ヲ
爲シ、又爲サシムル權能ヲ持テ居ル、我立法部デアルカラ、此修正案ヲ今日通過せ
ムシルト云フコトハ、時機ニ於テ國家ノタメニ、最モ爲スベキモノアルト云フコトヲ以テ

即チ決定ヲシタノデ、大體右様ノ次第デ、マダ其ニモ事細カニ申シマスレバ、アリマスガ、

餘り長クナリマスカラ、是ヲ委員會ノ報告ヲ終リマス

○加瀬禱逸君(三百十四番) チヨット質問ガアリマス、私ノ見方が悪ウゴザイマシタナラバ、暫ク御許ヲ願フトシテ、一應御尋シタイ、ソレハ現行鑛業條例ノ第四條ヲ見レバ

「農務省鑛山局及鑛山監督署ノ官吏ハ在職中鑛業人トナリ又ハ鑛業ニ關スル組合員又ハ會社ノ株主若ハ役員トナルコトヲ得ス」ト云フ、禁止ノ明文ガ置イテアリマス、所

ガ今般ノ鑛業法ヲ見レバ、是ト同シヤウナ規定モゴザイマセシ、又是ニ類似シタル規定モ

ナイト、見受ケルノアリマス、其理由ハ私別ニ申上ゲマセヌガ、免モ角農商務大臣トカ、監督署長トカ、斯ウ云フ者ハ鑛業權ニ對シテ至大ノ權利ヲ持テ居ル者アル、實ニ鑛業ノ許否、一二

其人ノ手ニ在ルノアル、是ハ弊害ヲ防グタメニ、斯ウ云フ規定が定メラレテアルト思フノ

ニ、今般ノ鑛業法ニ於テハ、此規定ガゴザイマセヌガ、別ニ何カ斯ウ云フ弊ヲ防グ、他ノ法

律デモアルノデゴザイマスカ、ソレガ有リマスレバ、甚ダ心ヲ安ンズルノデゴザイマスケレドモ、免ニ角私ハ未タ不敏ニシテ、サウ云フモノヲ見受ケマセヌカラ、此安心ヲ得セシメテ貰ヒタ

イノアリマス、今一ツ御尋ネシタノハ、鑛業法ノ五十七條、五十八條ヲ見マスニ、土地ノ所有者ハ鑛業權者ニ對シマシテ、土地ノ收用ヲ請求スルコトが出來ルトナテ居ル、

此場合ニ於テハ、無論收用トハ所有權ノ收用マデ含シテ居ルト考ヘマスガ、今委員長ノ

報告通ニ、第五條ヲ削除シテ、外國人ニマデ鑛業權ヲ與ヘルコトニナレバ、此鑛業權ノ

力ニ對スル許否如何ハ、別問題デゴザイマスガ、詰リ五十七條五十八條ノ結果、土地ノ所有權ヲ外國人ニ與フル現象ガ、起ランカト信ジマス、此五十七條、五十八條ヲ

此儘ニ置イテ、第五條ヲ削除シテモ、土地ノ所有權ヲ外國人ニ與フルト云フ結果ハ、

起シテ來ナインアリマス

○堀田連太郎君(百九十一番) 初ノ御尋ネハ、鑛業法案ニ無イモノデ、現行條例ヲ

引イテノ御尋デアリマスガ、鑛業法案ニハアリマセヌカラ、委員會トシテハ無論審議ヲ致シ

マセヌ、私個人トシテノ考ヲ申セバ、アリマスガ、ソレハ申ス必要ガゴザリマセヌカラ申シマセ

ス、政府委員ニ御尋下サイ、次ノ御尋ハアリマシタガ、ソレハ土地所有權ハ其場合ニ於テ

得ラレヌト云フコトニナシテモ、差支ナイト云フコトニアリマス、是ハヒドク議論ノアツタコトデ

ハアリマセヌ、私が記憶シテ居ルガケノコトヲ申上ゲマス

○加瀬禱逸君(三百十四番) 先刻第一トシテ御尋シマシタ點ヲ、政府委員カラ答辯

ヲ請ヒタイ

(政府委員田中隆二君登壇)

○政府委員(田中隆二君) 唯今ノ御尋ニ御答ヲ致シマスガ、官吏が其自分ノ掌ツ

テ居ルトコロノ行政事務ニ關係ノアル會社ノ社員トナルトカ、或ハ關係者ニナルト云フ如

キコトハ、官吏服務規律ニ於テ、自ラ取締ノ出來ルコトデアルカラ、殊ニ此法律ニ限シテ、

サフ云フ法文ヲ置ク必要がナイト認メマシタ故ニ、是ハ削除致シマシタノデゴザイマス

○議長(松田正久君) 格別御發議ガナケレバ、第二讀會ヲ開クヤ否ヤノ決ヲ採リマス

(「異議ナシ異議ナシ」聲起ル)

○恒松隆慶君(百五十九番) 直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 本案ニ付イテ、第二讀會ヲ開クコトニ御異議アリマセヌカ

○議長(松田正久君) 然ラバ第二讀會ヲ開クコトニ致マス、引續イテ第二讀會ヲ開

クコトニ御異議ハアリマセヌカ

○議長(松田正久君) 「原案異議ナシ」ト呼フ者アリ
〔「異議ナシ異議ナシ」聲起ル〕

○議長(松田正久君) 異議ガナケレバ委員長ノ報告通決定致シマス——第五條ヲ

討論ニ附シマス——鳩山和夫君

○花井卓藏君(三百七番) 議長——議長

○恆松隆慶君(百五十九番) 全部議題トナシテ居リマスカ

○議長(松田正久君) 第五條ヲ議ニ附シタノデアリマス

○花井卓藏君(三百七番) 兩黨アリコト御打合セガアルコトデゴザイマスレバ、私ハ

極ク短ニアリマスカラ、此席ニ於テ意見ヲ述ベタイト思フ

○議長(松田正久君) 既ニ鳩山和夫君ノ通告ガアリマスカラ……

(鳩山和夫君登壇)

○鳩山和夫君(一百二十九番) 諸君、此第五條原案ヲ、其儘ニ置クコトニ付イテ、

大岡育造君ノ御意見ヲ承シテ、是ニ反駁スル順序ト思シテ居リマシタ、所ガ突然茲ニ呼

出サレマシタガ、考ヘテ見ルト、其方が正當ナノアル、私ハ削除ヲ主張スルノデアルカラ、

先ニ演壇ニ登ル譯テアル、然ルニ削除ニ付イテハ、委員長カラ詳細ノ報告ガアリテ、殆ド

餘ストコロガナイヤウニ思ヒマス、大岡育造君ノ御議論ヲ伺シタラ、反駁ノ議論ガ出ルダ

ラウト思ツタガ、唯今デハ委員長カラ、明晰ノ報告ガアリテ、誠ニ報告ニ對シ、御意見ニ

對シテハ、非難スベキコロガナインアリマス、(ノウ)ト呼フモノアリ)其(ノウ)ノ理

由ヲ先ニ聞クコトが出來ルト宜ノデアルガ、「ノウ」ノ聲ミテアルカラ、誠ニ困ルノデアル、

私が削除シナケレバナラスト云フ大キナ理由ヲ、「ツ述ベタイト思フノデアル、ソレヨリ外ニ

述ベルトコロハナイ、政府ノ原案ニアルトコロノモノ、即チ「帝國臣民若クス帝國法律ニ從

ヒ成立シタル法人ニ非ラサレハ鑛業權者トナルコトヲ得ス」ト、此法文ハ攘夷的精神ヲ

含ムトコロノ法文デアル、今日新タニ法律ヲ制定スルニ當テ、斯ノ如キ思想ヲ含シテ居

ルトコロノモノヲ、條文ニ載セルト云フノハ、我衆議院ノ體面ヲ汚スモノデアル、我衆議院

ノ體面ヲ汚スノミナラズ、我帝國ノ位置ヲ一層低ウスルトコロノモノデアル、是ガ五十年

前、若クハ六十年前アレバ、攘夷思想ノ盛ナルトキニ、斯様ナ法律案テモナイガ、斯

様ナ議論ヲ提出スルモノガアッタナラバ、世ノ中ガアツ歓迎シタデアリマセウ、併シ今ノ日

本ハモウ少シ進シテ居ル、先年條約改正時分ニ當リマシテ、内地雜居ヲ非常ニ憂ヒマ

シテ、外國人ト日本人トが共ニ此内地ニ雜居スルコトニナツタナラバ、劣等日本人種ハ

優等ナル白皙人種ニ、負ケテシマヘウト云フヤウナ議論ヲ出シタ人ガアルノデアル、帝國

大學ノ某々博士ノ如キガ、サウ云フ議論ヲ書イテ、世ノ中ニ敷演シタコトガアル、又此議

員中ニモ、サウ云フコトヲ憂ヘラレタ人ガアツテ、内地雜居ニハ反対セラ、トコロノ人が

アツ、然ルニ是等ノ愚論者スラモ、今日ハ自らが覺メマシテ、邦土開放ト云フヤウナ文字

ヲ列シテ、前ニハ内地雜居ニ反対セラレタモノガ、今日ハ内地ヲ開放シ、土地ノ所有權ヲ

許スベシト云フ議論ヲ唱ヘテ居ルノデアル、斯ノ如クニ時勢ニ進歩トモニ、愚ナル人ガ

賢トナル、今日ニ當シテ、尙其昔ノ議論ヲ墨守シナケレバナラスト云フ理窟ガ、ドコニアル

ノアルカ、或ハ委員長ノ報告ノ中ニモ、貴族院ノ反対ヲ恐レタト云フヤウナコトヲ、チ

第二讀會

ヨット開キマシタが、貴族院ハ未ダ衆議院ノ辯論ヲ、未ダ開イテ居ラナイノデアル、殊ニ鳩山和夫ノ議論ハ、貴族院ノ耳ニ這入リテ居ラナイノデアル、此議論が速記トナフテ公ニナシテ、往ク日ニハ、貴族院中ニ、多少ノ頑冥者ガアリマシテモ、勿論服從セラル、コトニナルデアラウ、決シテ貴族院ハ御心配ニハ及ビマセヌノデアル、今ヤ日本帝國ハ隨

分大ギナ軍ヲシテ居ルノデアル、獨リ露西亞ト戰ツテ居ルノミデナク、文明ヲ以テ野蠻ニ戰フノデアル、智ヲ以テ愚ニ戰ツテ居ルノデアル、代議政治ヲ行ツテ居ル國ガ、專政ノ國ト戰ツテ居ルノテアル、日本ノ表彰スルトコロノ主義ハ、總テ文明ノ主義デアル、文明ト野蠻トノ軍ヲシテ居ルト云フ、此大イナル抱負ヲ持ツテ居ル國ガ、外國人ニ日本ノ鑛業ヲヤラシテハ困ルト云フヤウカ、小サナコトヲ言フハ、ドウシテモ出來ナイ、是ハ前後矛盾スル、私ノ議論ニスレバ、此法文ハ削除シテ、而シテ外國人ニ來テ鑛業權者トナシテ貰ヒタイ、唯恨ムラクハ此五條ヲ削除シテモ、外國人ガ十分ニ多額ニ資本ヲ持ツテ來テ、鑛業權者トナシテ吳レナイダラウト思フ、ソレガ心配ナノデアル、外國人ノ來ルヲ防グドコロデハナイ、來テ欲シノデアル、併ナガラ吾々ハ之ヲ削除シテ置イタコロガ、事實ニ於テヤハリアツテモナクテモ、殆ド同シコトヤナイカト思フ位アル、併ナガラ門戸ヲ閉イテサヘ置ケバ、或時機ニ於テ、或ハ少數ノ外國人ガ我國ニ來テ、鑛業權者トナルコトモアラウカト信ズルノデ、門戸ダケハ開イテ置キタイト云フ精神カラ、第五條削除ニ同意スルノデアリマス

○議長(松田正久君) 大岡育造君

(大岡育造君登壇)

○大岡育造君(百六十四番) 本員ハ鑛業法ノ第五條ヲ討議スルニ當リマシテ、不幸ニシテ委員長ノ此案ニ對シテ、多數ノ口子ヲ要シ、數回ノ詮議フ盡サレタコトニ付キマシテハ、委員長ノ此案ニ對シテ、多數ノ口子ヲ要シ、數回ノ詮議フ盡サレタコトニ付キマシテハ、其勞ヲ多トスルモノデアリマス、尙意見モ詳密ニ御陳述ニナリ、更ニ鳩山君ノ御意見ヲ述ベラレタ點マデモ、了承致シタ譯アリマスガ、本員ニ於キマシテモ、根本ニ於テ大差ハナイノデアル、今日ノ日本ハ國運發展ノ形勢ニ鑛ミマシテ、無論大ニ進歩政策ヲ取ラナケレバナラヌコトハ、殆ド御一人モ御異論ノナイコトデアラウト存シマスル、併ナガラ政治ノ問題ハ、鳩山君が先烈御陳述ニナリマシタ中ニ、古イ條約改正頃ノ歴史ヲ御引用ニナリマシタガ、其中ニ外人ノ難居サヘモ厭フタコトガアルト云フコトデアル、本員ハ其人デハナカタマスガ、無論日本ノ國民ニハアタタニハ相違ナイノデアル、年代ニ於キマシテハ、歴史ト云フモノハ、サウズモノデアル、鳩山君ノ先祖ハ、如何ニ賢明デアタカモ知ラヌガ、年代ノ古イ時代ニ於テハ、外國人ヲ恐レタコトモアツカモ知レヌト思フ、政治ノ問題ハ、即チ時機ニ於テ之ヲ可トシ、或ハ不可トスルコトガアルノデ、常ニ原則ニ於テ、此ハ是ナルベキモノ、此ハ不可ナルベキモノト云フコトヲ討究スルノガ、主眼デハナイノデアル、廳ノ近キ將來ニ於テ、委員長及委員會ガ、修正セラレタル如クニ、修正シタトイ私共モ希望シテ居ルノデアルガ、唯今ノ時機ニ於テハ、之ヲ原案ニ置クコトヲ適當ト認メル、如何ニモ鑛業法案ノ改正ハ、茲ニ二回カト思ヒマスル、堀田君ノ演説中ニ、前回ニ於テモ我衆議院ノ委員會ハ、外人ニ鑛業權ヲ許コトヲ極メテ、確カニ其通デアル、恰モ其時私ハ不肖ナガラ、委員長ヲ致シテ居ツテ、能ク記憶致シテ居マスガ、此時分モ結局兩院ヲ圓満ニ通過スルマデノ見込ガ、立タヌト云フコトモ一ツデアルガ、政府ニ於テ責任ヲ取ツテ此事ヲ斷行スルマデノ度合ニ進シ居リマセヌ、本員が茲ニ此政府案ニ同意スルニ表スルニ止メテ置キタイト申スノハ、他ノ意デハナイノデアリマス、吾々ハ最早日本ノ國民ノ進歩ト、國運ノ進歩トガ、外人ヲ恐ル、ナド、云フ時期デナイコトハ、確信ヲ致シマスル、ケレドモ、事

外人ニ毛關スル重大ノ問題デアリマスルカラシテ、政府ニ於テモ十分ナ準備ヲ盡シテ、遺憾ナキ度合ニ於テ、之ヲ行ハシメタイト思フノデアリマス、此ヨリ外ニ別段賢明ナル論モゴザイマセヌガ、愚論モ持チマセヌ、ドウソ諸君ハ原案ヲ御賛成ニナルヤウニ希望シマス

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 波多野傳三郎君

(「採決」討論終結「議論ヲ歡迎ス」ト呼フ者アリ)

(波多野傳三郎君登壇)

○波多野傳三郎君(二百二十四番) 唯今ハ政友會ノ院内總理タル大岡育造君ガ、原案維持ノ說ヲ述ベラレタシテガ、其要點ヲ申シマスレバ、政府ニ十分準備ヲ與ヘルト云ウコトノ外ハナシ、國運ノ進歩ヲ見レバ、既ニ業ニ外國人ニ鑛業權ヲ與ヘルニ適シテ居ル、然イ實ニ大岡君が政府ニ御親切デアルガ、同時ニ國家ニハ果シテ御親切デアルヤ否ヤガ、疑ハレルト存シマス、我帝國日本中ニアル比較的多數ノ黨派ノ、而モ院内總理タル大岡育造君デアルナラバ、既ニ國家ノ進歩ハ、外國人ニ鑛業權ヲ與ヘルニ適シテ居ル、然ルニ時ノ政府ガ、未ダ其準備ヲナスダケノ事が出來ヌト云フナラバ、何が故ニ我變テ是ヲ爲スト覺悟セラレヌノデアルカト云フコトヲ、大岡君ヲ始ト致シマシテ、多數ノ方々ニ、私ハ惜ムノデアリマス、私ハ第五條ヲ削除致シマスル第一ノ理由ト致シマシテハ、上下交々希望致シマストコロノ、外資ヲ輸入スルト云フ點カラシテ、(「ソレガ間違ヒダ」ト呼フモノアリ)先ツ此ハ削除スルノガ相當デアルト思ヒマスル、諸君ノ御記憶ノ如クニ、外資ヲ輸入致サント致シマシテ、最モ努メタル一ツハ、此戰局ニ應ズルガタニ、外債ヲ募集シタルコト、即チ是デアリマスル、此外債募集ノ條件ハ果シテ諸君が御満足ニナル程ノ有様デアルヤ否ヤ、昨年五月及十一月ノ兩度ニ募集セラレマシタル外債ノ條件ハ、蓋シ諸君ハ御満足ニナラヌテアラウト思フ程ノ狀態デアリマス、即チ七箇年ヲ以テ償還スルト云フコトデアリナガラ、其利子ハ幾何カト申シマスレバ、六朱デアル、而シテ第一回ノ賣出價格ハ、九十三磅半、第二回ノ賣出價格ハ九十一磅半、即チ償還期限ニ至リマスレバ、九十三磅半賣出シ、九十一磅半テ賣出シタモノヲ、百磅ヲ以テ償還致ヌト云フコトデアリマスカラシテ、第一回ハ七朱以上ニ當リ、第二回ハ八朱以上ニ當ル、而モ海關稅ノ優先權ヲ與ヘネバナラヌト云フコトデ、僅カニ外債ヲ募集シタ云フヤウナ狀態デアリマス、此ノ如キモ尙我政府ハ外債ニ付イテハ、成功シタリト喜シテ居ラル、狀態デアリマス、蓋シ諸君ハ餘リ御満足デハアルマイト思ヒマスルガ、其證據ハ歷々數日前ニ、此外債募集ニ幹旋セラレタリト聞エマスル、日本銀行ノ副總裁高橋是清君ハ、貴族院令第一條ノ第四項ニ依ツテ、貴族院議員ニ勅任スルト云フコトニナツテ居リマスル、是ハ蓋シ外債ニ成る者、若クハ學識アル者ト云フ簡條デアリマスルガ故ニ、高橋是清君ハ學識ヲ以テ勅任セラレタルニハアラズシテ、蓋シ外債募集ニ成功ト云フ、勵勞ヲ以テアラウト思ヒマスレバ、此一端カラ見テモ、如何ニ我が朝野が外資ヲ輸入スルト云フコトニ、熱心シツ、アルカトト云フコトハ、窺ハレルト存シマス、斯ノ如キ時ニ當リマシテ、苟モ外資輸入ノ途が開ケルナラバ、是ヲ努ムベキコトデアルト思ヒマス、即チ第五條ヲ削除致シマスレバ、外資輸入ノ一端トナルデアラウト存シマスルが故ニ、第一ニ此點カラシテ、第五條ヲ削除スルベシト存ジマス、又第二ニ戰後ノ財政ノ計畫ヲ考ヘマシテ、第五條ヲ削除スルコトガ、必要デアルト存シマス、ナゼサウアルカト申シマスルト云フト、今ヤ去ル三十二年ヨリ實施セラレタル我通商條約ニハ、十二箇年ヲ以テ其效力ヲ失フト云フコトニナリ居ルガ、而モ協定稅率が多い、此協定稅率ノ箇條ヲ、十二箇年ノ後ニ至ツテ廢シトナラバ、之ガ報償物ガ

必要アルト云フコトヲ、言ハレル力ガアリマス、併シ私ハ其場合ニ——丁度鑛業法協賛ト云フ場合ニ、我自ラ與フベキハ與フルト云フコトが必要ナリト、私ハ考ヘルノアリマス、遡テ今日不十分ナガラ、行ハレテ居リマストコロノ現行ノ條約ガ、其效力ヲ生ズルニ至ルマデノ歴史ヲ考ヘマスレバ、如何テアリマス、彼外人ヨリシテ種々ノ故障ヲ申立テルト云フコトガアル、其時々ニハ極ク著シイ例ヲ申シマスルト云フト、成程日本ノ治外法權ヲ撤去シ、收稅ノ權利ヲ回復サレルハ宜シイガ、未ダ日本ノ法廷ノ有様、日本ノ法律ノ有様ハ、安心が出來ヌト云フ譯テ、彼ノ「ボアリナード」博士ヲ備來リマシテ、刑法治罪法ヲ十三年ニ制定スルト云フコトヲ以テ、之ニ應ジヤウシタガ、果シテ我レ彼ノ故障ニ應ズレハ、直ニ其通り相成ルカト申セバ、左様ニハ參ラズ、其甚シキハ彼ノ風俗習慣ニ從ハネバナラヌト云フ譯テ、日々夜々舞踏ヲ行ハレル、其甚シキハ「ファンシーボール」マデヤルト云フコトヲ致シマシテモ、是テ決シテ我目的通行ハレハシマセヌ、然ルニ遂ニ明治三十一年ニ至リマシテハ、茲ニ國民ノ公議興論フ代表スルニ至タノハ、何デアルカト申シマスレバ、我帝國、日本ノ實力ガ稍各國ノ同意ヲ得ルダケニ運シダト云フコト慣ニ從ハネバナラヌト云フ譯テ、其最モ著シキモノハ、去ルニ十三年以來、帝國議會が開會セラレテ、茲ニ國民ノ公議興論フ代表スルニ至タノハ、何デアル國民ノ公議興論ハ、條約ノ改正ヲ希望スルト云フコトガ一ツ、二ツニハ「十七八年ノ戰役ニ當シテ、戰ヘバ勝チ攻ムレバ取ルト云フ勵キガ、又之ヲ助ケテ、遂ニ現行ノ條約が行ハル、ト云フコトニ相成ヌタニ相違ナイト存ズルノアリマス、果シテ然ルト致シマスルト云フト、我戰後ノ財政ノ、今日ノ如キ零細ノ稅ヲ或ハ増シ、或ハ新タニ起スト云フコトニ著目セズシテ、他ノ國ガ財源ト賴ムトコロノ海關稅ヲ、大ニ増加スルト云フコトハ、戰後ノ財政トシテ努力ベキコトデアルト思ヒマス、即チ他ノ國ハ、諸君ノ御承知ノ通、最モ多キハ亞米利加合衆國デアリマスカ、政府ノ歲入ノ殆ド一半ハ海關稅ニ依ルト云フ狀デアリマス、少ナキモノト雖モ、強國若クハ、大國ト言ハレルトコロニシテ、我帝國日本ノ如キ小數ノ海關稅シカ、手ニ收ムルコトノ出來ヌト云フ國ハ、ナインデアリマス、然レバ我帝國日本戰後ノ財政ノ計畫トシテハ大ニ海關稅ノ收入ニ依ルト云フコトニ、努メネバナラヌト存シマスル、之ヲ努ムルニハ、然ラバ如何スルカ、我ヨリ進ンデ彼ニ與フベキハ、與ハ置クト云フコトガ、寧ロ我目的ヲ達スル端緒アルト存シマス、決シテ戰後ニ至リマシタカラト云ウテ、彼ヨリ輸入セラル、モノヲ禁止スル、我ヨリ輸出スルモノヲ保護スルト云フ目的デハエサイマセヌ、我戰後ノ財政ノ計畫上、歲入ノ目的トシテハ、斯ク、
セネバナラヌ、我ヨリ胸襟ヲ披イテ彼ニ諮詢タラバ、強子十二箇年ノ期限ヲ待タズトモ、海關稅ヲ大ニ收入スルト云フ目的ヲ、達シ得ラレ又譯モアルマイ、之ヲ爲スニハ我ヨリシテ與フベキハヘルト云フコトヲ、第一ニハスペキデアルト、私ハ考ヘマス、今一ツ必要ナルコトハ、即チ支那及朝鮮ニ向シテハ、我ニ鑛業權ヲ與ヘヨト迫リ、アル、今日デゴザイマスノニ、我ヨリ求ムルモノハ與ヘヌト云フコトハ、之ハ決シテ彼我權衡ヲ得タ仕方ハナイト思ヒマス、然レバ此一點カラ見テモ、實ニ我日本ハ年々歲々人口ノ増加ヲスル、此繁殖スル人口ヲ發展スベキノ土地ハ、支那朝鮮——殊ニ支那朝鮮ノ鑛業三著目ヲスルト云フ譯テアルナラバ、我ノ與フベキモノハ又與ヘルト云フコトヲ、第三ニ於テスルコトガ、他ノ人ヲシテ、即チ列國ヲシテ不同意ヲ言ハシメザル原因デアルト信ジマスカラ、第三ニ此支那朝鮮ニ向シテ、鑛業權ヲ要求スルノ權衡ヲ得ルト云フ、點カラ申シテモ、第五條ハ削除スベキが相當方ガ、餘程人ヲ選ム譯デアルト云フコトヲ、諸君ハ御考ヘ下サヌテ、相當デアラウト存シマ

ス、即チ今日ノ如ク、帝國ノ法律ニ從し、成立シタル法人ニアラザレバ云々ト云フコトデ、我法律ニ從タル法人ナラバ、鑛業權ヲ與ヘルト云フコトニ相成リ居リマスルト云フト、此條ヲ潛る如キ種類ノ粗末ノ人物ガアルナラバ、今日ノ儘デモ何ニ差支ハナイノアリマス、然レバ正ニ堂々、個人トシテ我法律ニ從シテ鑛業ヲスルト云フモノニ、鑛業權ヲ與ヘタ方ガ、寧ロ正シキ人ヲ我ニ入レル譯アツテ、正シキ金ヲ我ニ收ムル譯アル、今日ノ法律デモ潛り得ルト云フ立派ナル名稱ハ、諸君ノ御記憶ニアルが如ク、即チ土地抵當法案ヲ諸君が協賛セラレネバナラヌト云フコトニ致シマスレバ、其實同様デアツテ而モ法律ヲ潜る如キ寧ロ卑シキ人物ガ、鑛業權ヲ與ヘルト云フコトニ致シマスレバ、斯ノ如キノ弊害ヲ避ケテ、相當ナル人物ヲ、正當ナル途ニ依シテ、金ヲ出サシムルト云フ黒カラ、觀察致シマシテモ、此第五條ヲ削除シテ、個人ニ鑛業權ヲ與ヘルト云フコトニ致シマスレバ、其實同様デアツテ而モ法律ヲ得ルト云フコトハ、既定ノ歲出、日程ノ變更ノ場合ノ外ハ、政府ノ同意ヲ得ルコトハ要サヌ、諸君ノ見フレルトコロニ依シテ、進行セラレテ、宜イノアリマスルガ、假ニ一步ヲ讓シテ、政府ノ同意が必要ナルモノトシテモ、國務大臣ノ一人タル清浦農商務大臣ハ明言セラレテ居ルが如クニ、政府モ差支ハナカラウト云フコトハ、全然自分ノ獨斷テ撤回トモ申サレヌカラシテ、言葉ヲ換ヘテ申セバ、勅旨ヲ奉シテ議案ヲ、全然自分ノ獨斷テ撤回トモ申サレヌカラシテ、言葉ヲ綺麗ニ言ハレタト云フダケノコトデアツテ、必ズ政府ハ此案ニハ、即チ削除スルト云フコトニハ、不同意ガナイト云フコトハ、明カテゴザイマス、是等諸々ノ點ヨリ觀察致マスルト云フト、第五條ヲ削除此第五條ニ付イテハ政府案ヲ贊成致シマスルモノニ、飽迄モ第五條ヲ存シタコロノ意見ヲ持テ居リマスル一人デゴザイマス(「謹聽」ト呼フ者アリ)第一鑛業權ヲ外國人ニ許スノ可否ト云フ問題ハ、時機ノ問題ナノアリマス、是が絶對ニ惡ルトイトカ宜シイトカ云フトコロノ問題デハナインデ、唯時機ノ如何ニアルノアリマス、所テ今日之ヲ許スベキノ時機アルカ、許スベカラザル時機アルカト申シマスレバ、本員ハ遺憾ナガラ、與フベカラザル時機アルト云フコトヲ、斷言シナケレバナラヌ、曩ニ大岡君ハ、此日本ノ鑛業

○議長(松田正久君) 坂本金彌君

(採決々々ト呼フ者アリ)

(坂本金彌君登壇)

○坂本金彌君(二百九十四) 此第五條ニ付キマシテハ、段々御議論モアリマスルシ、殊ニ唯今波多野傳三郎君ノ御說ヲ承リマスルト云フト、此委員會ニ於キマシテ、第五條ヲ削除セラレマシタルトコロノ理由ヲ、最モ大ニ明カリヤウニ思ヒマスル、本員ハ此第五條ニ付イテハ政府案ヲ贊成致シマスルモノニ、飽迄モ第五條ヲ存シタコロノ意見ヲ持テ居リマスル一人デゴザイマス(「謹聽」ト呼フ者アリ)第一鑛業權ヲ外國人ニ許スノ可否ト云フ問題ハ、時機ノ問題ナノアリマス、是が絶對ニ惡ルトイトカ宜シイトカ云フトコロノ問題デハナインデ、唯時機ノ如何ニアルノアリマス、所テ今日之ヲ許スベキノ時機アルカ、許スベカラザル時機アルカト申シマスレバ、本員ハ遺憾ナガラ、與フベカラザル時機アルト云フコトヲ、斷言シナケレバナラヌ、曩ニ大岡君ハ、此日本ノ鑛業

致シマシテモ、之が仕事ヲ十分ニスルト云フコトハ、能ウ致シマセズ、多クノ鑛區ニモノヲテ居ラヌ多クノ區域ガ、唯謂レナク、皆十分能ウスルコトヲ皆能ウセズニ、廢シテ居タノデ、四十億万圓ト云フヤウナ大ナルトコロノ價ガアツタト云フコトヲ、云フデハアリマセヌカ、此ノ如ク日本ニ廢シテ居ルモノガ、澤山アリマスノデス、マダ此先ドンナモノが發見セラレルカ分リマセス、私共ハ此土地ト云フコトニ付イテハ、ドツカト申シマスレバヤハリ、所有權ヲ與ヘルト云フ方ノコトヲ信シテ、最モ主張致シテ居ルトコロノ論者テアリマスカ、此土地ト鑛區ト云フモノトハ、餘程違フノデアル、土地ハ廣潤ナルトコロノ、誠ニ廣ク何所ニテモアルモノデアリマスガ、此鑛山ト云フモノハ、特定ノモノデ、サウ澤山アルモノデ、ハナイノデゴザイマスカラ、此少ナイモノヲ、外國人ニ若シ占領セラレルト云フコトニナリマシタナラバ、最モ是ハ恐ルベキトコロノコトナノデアリマス、殊ニ鳩山君ハ此鑛業ヲ、今外國人ニ與ヘストレノ國カ、攘夷的ニアラザル、何レノ國カ鎮港的ニアラザル、何所ノ國アモ鎮港的ニアリマス、何所ノ國デモ攘夷的ニアリマス、鳩山君、試ニ南洋ノ英領ニ往テ、眞珠貝ノ拾ハントシテ見給ヘ、英國人ガ之ヲ許スカ、ベーリング海峽ニ往テ漁業ヲセント欲シマシテモ、米國人ガ之ニ漁業權ヲ與ヘマスルカ、國ノ利權ヲ自ラ國ノ者ガ守ルト云フコトハ是ハ當然ナノデアル〔ヒヤノク〕ト呼フ者アリ〕ソレヲ與ヘナイカラシテ、攘夷論テアル、鎮港論テアルト云フコトハ、最モ分ラナイ、是が古臭イトコロノ思想ナノデアル、若シ鑛業權ヲ外國人ニ與ヘナインガ、此協定稅率ヲ十一箇年ノ後ニドウカスルタメニ、今日カラ鑛業權ヲ早ク與ヘラシテ居ル場合三方ノテ之ニ御ウツリモナシニ、直チニ持シテ往クト云フヤウナコトハ、殆ド宋襄ノ仁ナノデアル、今外國人ニ波多野君ハ朝鮮ヲ如何ナル國ト見テ居ルカ、朝鮮ハ日本ト對等國アルカ、又清ト申ノ仁ナノデアル、殊ニ清韓ニ持シテ往テ、今日鑛業權ヲ、日本人ハ大三請求シテ居ルノニ、シマンダトコロガ、此日本ノ今日鑛業權ヲ最モ大ニ請求シ、大ニ得ント欲シテ居ルノハ、之ヲ日本が閉アテ置イテ、清韓ヘ持テ往テ許スト云フヤウナコトヲ云フノハ、最モ道理ニ合ハヌトコロノ話ダ、トスウ言ハレマシタガ、此等が最モ不都合千万ナル議論テアル、シテ居ル場合三方ノテ之ニ御ウツリモナシニ、直チニ持シテ往クト云フヤウナコトハ、殆ド宋襄ノ仁ナノデアル、殊ニ清韓ニ持シテ往テ、今日鑛業權ヲ、日本人ハ大三請求シテ居ルノニ、是ハ滿洲ノ野アル、御承知ノ通、滿洲ハ殆ド統治權ノナイトコロノ國デアレバ、何所ノ國ノモノニナルノカ、名ハ清國ノモノデアリマスガ、其實ハ何所ノモノカ分リマセヌ、此等ノモノニ對シテ、對等ナルトコロノ國ト認メテ、サウシテ日本ノ鑛業權ヲ與ヘテ置カケレバ、シマンダトコロガ、此日本ノ今日鑛業權ヲ最モ大ニ請求シ、大ニ得ント欲シテ居ルノハ、此等ニ向テ鑛業權ヲ請求スルコトが出來ナイト云フヤウナ考ヲ、國民ガ若シ不幸ニシテ持タレルモノ話アル、總テコンナ御考ヲ持タレマスルカラシテ、即チ外交ドモガ不振ナノデアル、此等ノ權利ヲ得ント欲スルナラバ、一二外交ノ手腕ニ依テヤルベキコトデ、是テ先以テ往カナケレバ、已ニ取ルコトが出來ナイト云フヤウナ考ヲ、國民ガ若シ不幸ニシテ持タレルモノ如キモノハ、如何デゴザイマスカ、ナカノ過當ナモノガアル、此等ノモノハ何時カ、ドウド定見ノナイトコロノ國民アルト、私ハ申スノデアリマス、殊ニ此國際ハ相互的ノモノデアリマス、國際ハ相互的ノモノデアルト致シマスレバ、今日本ノ外交ニ與ヘテ居リマスルトコロノ權利デ、頗ル過當ナルモノガアリハ致シマセヌカ、譬へテ見レバ土地ノ永代借地權カジナケレバナラヌ、又種々ナルトコロニ、日本ハ是カラ他ニ發展シテ往キマストコロノ、商業ニ付キマシテモ、種々相互利益シ、對等ニシナケレバナラヌトコロノ、事柄ハ澤山ア

「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ

古物商取締法中改正法律案

○議長(松田正久君) 然ラバ委員長ノ報告通、確定ト認メマス、——議事日程第十二質屋取締法中改正法律案ノ第一讀會ヲ繼續シ、委員長ヨリ報告ヲ致シマス、天野董平君

第十二 質屋取締法中改正法律案(政府提出)

質屋取締法中改正法律案（政府提出）第一讀會ノ續（委員長八十五番）報告

第一讀會ノ續(委員長報告)

此法律案ハ委員會ノ修正ノ通、御決議アランコトヲ希望致シマス
シタ、同時ニ此二十三條中ノ第五條一項ノ下「及第一項」ノ四字ヲ削除スルト云ノ修
正意見ニアリマス、是ハ第五條ノ二項ノ質屋契約ノ證トシテ質札又ハ通帳ヲ質置主ニ
交付スヘント云フ文字ヲ削ル、是ハ各地方デ故意デナク、往々交付シナイタメニ、警察
官ニ咎メラレテ、此條文ノアル限リハ、一ノ犯罪者ヲ生ジテ、各地方デ隨分困ル、斯ウ云
フコトガ、委員會ノ多數デゴザイマシタ、政府委員ハ之ヲ削ラレテハ困ルト云フヤウナ説明
モガザイマシタガ、最モ委員會ノ多數ヲ以テ、之ヲ削ルコトニ決議致シマシテゴザイマス、本
會ニ於テモ、此法律案ハ委員會ノ修正ノ通、御決議アランコトヲ希望致シマス

〔望月長夫君質問が致シタイト因
〔政府委員山縣伊三郎君登壇〕

〔望月長夫君質問が致シタイト因
〔政府委員山縣伊三郎君登壇〕

○政府委員(山縣伊三郎君) 唯今委員長ノ報告ニモアリマスル如ク、此質屋取締法中第二十三條ノ中ヲ削除スルト云フコトハ、政府ニ於テハ反対ヲ致シマス、其理由ハ、委員會ニ於テモ、纏々述ヘアリマスガ、詰リ此制裁がナイコトニナリマスルト、或ハ質札ヲ故意ニ渡サヌコトモアル、サウ云フ場合ニ於テハ、誠ニ困ルノデアリマスルカラ、制裁ハヤハリ置イテ貴ヒタイ次第アリマスル、反対ノ理由ヲ述ベテ置キマスル

○望月長夫君(二百四十六番) チヨット政府委員ニ質問致シマスガ、元ト質屋取締法ニハ、遷リ變リノ際ニ處スル、第二二十八條、「卽チ此法律施行ノ以前ニ係ル質契約ニ付イテハ、契約當時ノ法令ヲ適用スト」云フ法令ガ一箇條アル、私が質問ヲ致シマスルノハ、今日沖繩縣ニハ、未ダ卽チ今日マデハ、質ト云フモノハ行ハレテ居ナカッタノデアルカ、ドウカ、若シ今日マデ既ニ質ト云フモノガ行ハレテ居テ、サウシテ其質契約ノ、或ハ慣例デゴザイマセウ、或ハ各個ノ契約デゴザリマセウ、ソレ等が悉ク此質屋取締法ト合スルモノトハ思ハレマセヌガ、斯ルモノハ今日以前ニ既ニ質ヲ取シタモノハ、ドウナル考テアルカ、此二十八條ハ無論明治二十八年九月一日施行ノ日ニ於テノ遷リ變リノ法アルカラ、必要ガナケレバ必要ガナイデ宜シウゴザイマスガ、疑ラ起シマステ、チヨット御説明ヲ請ヒマス

(政府委員仲小路廉君登壇)

○政府委員(仲小路廉君) 唯今ノ街尋ハ質屋取締法ノ第十八條ノ規定付テノ御尋ト伺ヒス、唯今ハ此民法ニ關シマスル質契約ノ事柄モ、沖繩縣ハ凡テ行ハレテ居リマスル譯デ、從テ取締法ヲ實行致シマシテモ、別段ニ差支ルトコロハナイト云フ見込デゴザイマス

○恵松隆慶君(百五十九番) 直チニ第一讀會ヲ開クコトヲ希望致シマス
○議長(松田正久君) 直ニ「讀會ヲ開クニ、御異議アリマセバ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○望月長夫君(二百四十六番) 私ハ此委員長報告ノ中デ、政府案ニ新タニ加ヘラレタ分ノ削除ニ、反対ヲ致シマス、成程一面ヨリ考ヘマスルト、質屋が質置主ニ、質札トカ質通帳ヲ渡サネハナラヌト云フ規定がアツテ、ソレヲ渡サナカジタ場合ニ、料料三處セラレル、罰金ニ處セラレルト云フコトハ、隨分困ルト云フコトガアルカモ知レメガ、或ハノ惡ルイ質置人ハ、自分ニ不利益ナル質屋ノ主張ニ對シテ、若シ期限ガ切レテ流ストカ云フヤウナコトナラバ、已レニ質札ヲ渡サナカッタ、或ハ質通帳ヲ渡サナカッタト云フテ、告發シテヤルガドウダト云フヤウナコト、或ハ所謂證明ヲ問題トシテ、質札ヲ渡シタカ、質通帳ヲ渡シタカ云フ證明ノ困難ノ問題ヨリシテ、サウ云フコトガアルカモ知レナイ、サリナガラ私ハ若シ其制裁ヲ取ツタナラバ、ソレヨリ以上ノ弊害ガアルト考ヘル、凡ソ已レノ物品ヲ質屋ヘ持ツテ往ツテ、サウシテ質屋カラ些細ノ金ヲ借りルト云フガ如キハ、極メテ貧困者ガ、即チ極メテ切迫シタル場合ニ於テ、極メテ切迫シタル金ノ必要ニ依ツテ生ズル、斯ノ如キ場合ニ於テデス、唯僅カナ金額ノ必要ト云フコトニ追ラレテ、質ヲ置クト云フ場合デアルカラ、若シ法律ガニ保護ヲ與ヘテ置カナカツタナラバ、彼ハ唯金ヲ借りルノ窮迫ト云フ上ヨリシテ、質屋ノ如何ナシ横道、如何ナル横著ニ對抗スルコトエシナ、極メテ憤レムベキ境遇ニ立ツテ居ル、斯ノ如キ者ニ向ツテハ、ヤハリ貸シタル金ノ金額ト、持ツテ往ツタ質物トハ、後日ニ於テ證明ノ出來ルダケノ書付ヲ質屋が與ヘナケレバナラヌト云フコトヲ、法律ニ規定シテ置イテ、サウシテ之ニ背イタ場合ニ、相當ノ制裁ヲ附ケテ置クト云フコトハ、唯今申スガ如ク、憤ムベキ境遇ニ於テ、即チ貸主ニ對シ、何等抵抗ノ武器ヲ持タヌイ、極メテ薄弱ナル弱イ地位ニ居ル者ヲ保護スルガタメニ、斯ノ如キ法條ヲ、態々削ル必要ハナイ、之ヲ存シテ置クコトハ當然アルト思フカラ、唯今委員長報告ノ中ノ、新タニ附加ヘタ部分ニ付イテハ、反対ヲ致シマス。

○大岡育造君(百六十四番) 本員モ亦望月長夫君ト同説デアツテ、委員長報告ニ反対デ、原案ヲ賛成シマス

○藤崎嗣之君(二百八十一番) 是六簡單ナ問題デアリマシテ、諸君ノ清聽ヲ汚ス程デアリマセヌデ、此所ヲチヨット、此問題ハ極ク輕小ナヤウナモノデアリマスルケレドモ、或階級ノ上ニ取リマシテハ、殆ド一ツノ動産銀行見タヤウナ、極メテ必要ノモノニ屬シテ居ルノデアリマス、サウシテ質物ヲ受授致シマシテ、金ノ貸借ヲ致シマスルトコロノ手續ヲ聞イテ見マスルト、多クノ極メテ此質置ヲ必要トナル階級ノ者が、質ヲ置キマスルニハ或一定ノ時刻例ヘバ晚方デ、労働者が歸デ來テ、質金ヲ得ルコトノ能ハナカツト云フヤウナ、極メテ緊急ヲ要スル、既ニドナタカ辯セラレマシタガ如ク、極メテ緊急ヲ要スルタメ、一時ニ込合ツテ、其處カラモ此處カラモ、澤山三僅カナ品ヲ持ツテ來テ、僅カ少數ノ金ヲ借りテ行ク、ソレニ對シテ、質屋ハ一々引合セテ、通帳若クハ質札ヲ渡シマスルハ、少ナクテ五分、多クテ十分、或ハ十五分ニ一分ト云フヤウナ時間ガ掛リマス、其間モ待ツコトが出來ナイノデ、金ヲ下ゲテ先ヘ歸ツテシマフ、ソレヲ御侍チ下サイ是非共通帳ヲ渡サナケレバ、金ヲ渡スコトハ出來ヌト申スト、其質屋へ來ナクナツテシマフ、是が實際質屋ノ事情デ、又貸シテ置イタ金ヲ多

大ニスルトカ、受取テ置イタ品物ヲ返ヘサナイトカ云フヤウナ、不信用ナル商業人ハ、殆ドナイ、畢竟サウ云フヤウナ想像ヲ下スノハ、ソレハ机上ノ議論デ、質ヲ置イタコトノナイ人ノ想像デアル、自分デ質ヲ置イテ考ヘテ見タラバ、決シテサウ云フヤウナ、不信用ナコトハナイ、期限ヲ延ベル相談ニ往ケバ、悠々シテ相談ニ應シテ吳レルト云フノハ、彼ノ稼業トシテ、信用ヲ得ルノデ、唯今ノ如キ杞憂ヲ抱イテ、心配スルノハ、要スルニ質置ノ實際ヲ知ラヌトコロノ議論デ、圓満ニ行ハレル銀行取引ノ阻礙ヲスルト云フコトニナシテ來ルノデ、飽マデモ此制裁が極メテ不必要ナル、大體ノ法案ニ於キマシテハ、既ニ渡スベシト云フコトヲ命令シテ居ル以上ハ、渡サナカツタ云ツテ尙立法上渡サナイモノヲイデメル制裁ヲ、ク付ケルト云フ必要ハナイノアリマス、委員長報告通ニ決定サレンコトヲ、希望致シマス

〔探決タ々ト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 発言者がナケレバ、採決致シマス、先ツ委員長ノ報告、即チ第二十三條中第五條第一項ノ下及第二項ヲ削ル、此報告ニ付イテ決ヲ採リマス、委員長ノ報告ニ賛成者ハ起立ヲ望ミマス

起立者 少數

○議長(松田正久君) 少數デゴザイマスカラ、委員ノ削除説ハ採用サレマセヌ、次ハ即チ第二十七條但書ヲ削ル、是ハ委員長ノ報告通、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ、委員長ノ報告通決シマス、次ハ附則ニ付イテ決ヲ採リマス、附則ニ委員長ノ報告通、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ、其通決シマス

○議長(松田正久君) 直チニ二讀會ヲ開クト云フ、恵松君ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

質屋取締法中改正法律案

○恵松隆慶君(百五十九番) 二讀會ノ通、異議ハアリマセヌ

○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ、二讀會ノ通決定致シマス——議事日程第十三、北海道一級町村及二級町村ヲシテ租稅外國庫歲入ヲ徵收セシムル法律案ノ第一讀會ヲ繼續シテ、委員長ノ報告がアリマス、首藤陸二君

北海道一級町村及二級町村ヲシテ租稅外國庫歲入ヲ徵收セシム 第一讀會ノ續(委員長)

○首藤陸二君(二百五十二番) 簡單ナル案デ、アリマスカラシテ、此所ヨリ報告致シマス、北海道ノ町村ヲシテ租稅外國庫歲入ヲ徵收セシムルト云フ、簡単ナル法律案アリマシテ、委員會ハ別段ニ議論ナク、政府案ノ通決定致シマシタ、此段報告致シマス

○恵松隆慶君(百五十九番) 本案ハ極ク簡單ナノデゴザイマスカラ、直チニ二讀會ヲ開イテ、讀會ノ順序ヲ略シテ、確定セシムコトヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 直チニ第二讀會ヲ開キ、讀會ノ省略シテ、確定議ニ付スル動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

北海道一級町村及二級町村ヲシテ租稅外國庫歲入ヲ徵收 確定議

○議長(松田正久君) 各條附則マテ併セテ討議ニ付シマス

○恵松隆慶君(百五十九番) 委員長ノ報告通、御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 然ラバ委員長ノ報告通、確定致シマス、議事日程第十四、地租條例中改正法律案第一讀會ヲ繼續シ、委員長ノ報告がアリマス、遠山正和君

第十四 地租條例中改正法律案(政府提 出)

第一讀會ノ續(委員長)

○遠山正和君(百五十七番) 私ハ簡單デゴザイマスカラ、此處カラ——本條ニ付キ

マシテハ、此地上權者ガ外國人ガ二百一人ゴザイマスルノデ、是等ノ關係ト、ソレカラ將來地價ノ修正等ニ關係ガゴザイマスルトコロカラ、特ニ大藏大臣ノ此委員會ニ出席ヲ求メマシテ、彼是質問ノ末、第四條ニ於テ第三項、第四項、第十二條ニ於テキマシテ、第二項ノ修正削除等ガゴザイマシタケレドモ、是等ハ賛成者ガゴザイマセヌノズ、遂ニ消滅ヲ致シマシテ、結局本案ニ決シマシテ、本案ヲ可決致シマシタ譯デゴザイマス、此段報告致シテ置キマス

○渡邊修君(九十四番) 政府ニ質問ガアリマス、全體本會ニ於テキマシテ質問ヲ致シマスノハ、煩雜デゴザイマスカラ、成ベク避ケタノイノデアリマスガ、本員ハ前來ノ行掛りガアリマシテ、此場合ニ於テ質問ヲ致シマス、昨年ノ冬非常特別稅ノ改正法ノ委員會ニ於テキマシテ、時機ヲ利用シテ質問ヲ致シマス、昨年ノ冬非常特別稅ノ改正法ノ委員會ニ於テキマシテ、私が大藏大臣ニ向ヒマシテ、數箇條ノ質問ヲ致シマシタ、其中ノ一箇條トシテ、聞クトコロニ依レバ、東京市内ニ山林——一般ノ宅地トナツテ居ル所デ、山林原野が澤山アルト云フコトデアリマスガ、果シテサウ云フモノガアルカ、アレバ何百町歩何町歩アルカ、何故ニ今日マテ此地目ノ交換トシナシカト云フコトヲ、聞イタノアリマス他ノ箇條ニ付キマシテハ、其中ニ大藏大臣ノ答辯ヲ得マシタガ、此箇條ニ於テキマシテハ、大藏大臣ヨリハ、答辯ヲ得マセヌアリマシタ、他ノ政府委員が代ゼテ、之ニ對シテ答ガアリマシタ、其上ゲマスガ、多分ナカラウト思ヒマス、斯ウ云フ答デゴザイマス、今日ニ至ルマデ、大藏省ニ於テハ、サウ云フ事實ガナシ、又事實ノ取調が出來ヌノアリマスカ、ヨモヤサウ云フコトハナカラウト思フ、甚ダ其當時大藏省ト云フモノハ、甚ダ迂遠ナモノデアルト云フコトヲ、私

○議長(松田正久君) 然ラバ直チニ第二讀會ヲ開キ讀會ヲ省略シテ、全部ヲ議題ニ供シマス

不動産登記法中改正法律案

○議長(松田正久君) 委員長報告通異議ナシ

○議長(松田正久君) 委員長報告通、御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 御異議ナケレバ、委員長報告通、確定致シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 次ノ日程一ツハ、同一ノ委員デアリマスカラ、一ツニ報告ニナランコトヲ

○議長(松田正久君) 議事日程第十六及第十七ハ、同一ノ委員ニ付託シテアリマスカラ、同時ニ委員長ヨリ報告ヲ致シマス、南條文五郎君

輸入原料砂糖戻税法中改正法律

第一讀會ノ續(委員長)

(報告)

第十六 砂糖消費稅法中改正法律案(政 府提出)

第一讀會ノ續(委員長)

(報告)

○南條文五郎君(二百七十三番) 是カラ申上ゲマス、此輸入原料砂糖戻税法中改正法律案竝ニ砂糖消費稅法中改正法律案、此二案ハ御承知ノ通至シテ簡単ナモノニアリマスカラ、政府ノ説明ヲ求メシタ末、全會一致ヲ以テ兩案共ニ決定致シマシタ、此段報告致シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 本案ハ最モ適當ナ案アゴザイマスカラ、ドウカ直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ノ順序ヲ略シテ、委員長報告通、可決セラレンコトヲ希望シマス

○議長(松田正久君) 先ダ日程第十六、即チ輸入原料砂糖戻税法中改正法律案ニ付イテ決テ採リマスガ、是ハ委員長ノ報告通異議アリマセヌカ

○恆松隆慶君(百五十九番) 讀會省略シテ、委員長報告通異議アリマセヌ

○議長(松田正久君) 讀會省略シテ異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレハ、讀會ヲ省略致シマス、委員長報告通、御異議アリマセヌカ

輸入原料砂糖戻税法中改正法律案

確定議

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、委員長報告通、確定致シタルモノト認メマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 是モ直チニ二讀會ヲ開キ、讀會省略シテ可決セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(松田正久君) 恒松君ノ動議ノ如ク、直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略シテ

委員長報告通決定スルコトニ、御異議アリマセヌカ
砂糖消費稅法中改正法律案

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

確定議

珪次君

第十九 遠洋漁業獎勵法改正法律案(政 府提出)

第一讀會ノ續(委員長)

(報告)

○齊藤珪次君(四十四番) 簡單デアリマスカラ、是カラ述ベマス、本案ノ改正ニ付キ

マシテハ、政府ノ提出シマンタ要點ハ、從來ヤシテ居リマシタル遠洋漁業獎勵案ノ意ヲ擴張致シテ、從シテ其金額モ増加スルノ要旨アリマシテ、是ハ委員會ハ、全會一致ヲ以テ認メマシテゴザイマス、併シ特ニ一言申シテ置クノハ、斯様ニ遠洋漁業ヲ獎勵スルコトニ付キマシテハ、是ヨリ幾多ノ増加ヲ來スノハ、無論ソコトアル、然ル以上ハ從來沿岸漁業ニ於キマシテ、弊害アリト認メテ居タ如キ、彼ノ打瀬網若クハ流シ網ト云フガ如キモノヲ、遠洋漁業トシテ獎勵シタル時分ニ、舊來ノ沿岸漁業ヲ妨害シテハ困ルト云フコトノ説ガ、委員殆ド一致デゴザイマシタ、之ニ就キマシテ政府ニ段々交渉ヲ致シタコロガ、政

府ハ斯ノ如キ打瀬網若クハ流シ網等ハ、船體モ大キナモノヲ用井、而シテ必ズ遠洋漁業デ、之ヲ營マセルコトニ致シテ、遠洋漁業ノタメニ沿海漁業ハ必ズ害サセヌト云フコトヲ

ヲ、明言致シ、證言致シ、且又此遠洋漁業ノ定義ニ付イテハ、相當委員カラ質問モシマシタ、此遠洋漁業ノ定義ニ付イテハ、遠洋漁業目下ノ形勢ニ於テハ、其範圍等ノ定義ヲ極メヌ方ガ、漁業ノタメニ利益ニアルト云フコトノ、政府委員ノ説明モアリ、又委員モソレヲ認メマシタ、併ナガラ是亦網ヲ以テ遠洋漁業ヲ始メル以上ハ、此場所ノ制限ヲ濫リニ致スト云フト、是ガタメニ沿海漁業ヲ妨害致スカモ、知レヌノナルカラ、此黒モ十分取締ガ出来ヤウカト云フコトヲ確メマシタコロガ、政府ハ漁業法又ハ訓令省令等ニ依テ、確ニ沿海漁業ヲ妨害致サヌト云フコトニ致シマスガ、即チ第一條ニ國庫ガタメニ、先以テ政府が要求致シマシタルトコロノ、改正案ノ擴張及金額ノ増加ハ之ヲ同意ヲ致シマシタ、併シ豫テ御配付申シマシタ如ク、字句ノ修正ガ三箇所ニゴザイマス、ソレハ御覽ノ通、第一條、第五條、第十一條デゴザイマスガ、即チ第一條ニ國庫ハ十五万圓ヲ、ノ金ヲ、年々支出スルト云フコトニ致シマシテ豫算ノ定ムル所ニ依リト云フ文字ヲ加ヘルト云フコトニ、修正ヲ致シマシタ、何故ト云フト、是ハ國庫が十五万圓ト云フコトニ、唯極メテ置キマスレバ、豫算外國庫ノ契約ニナルガ如キ疑モゴザイマスルシ、又既ニ一度此協賛ヲ得タ以上ハ、年々是ダケハ豫算ナシテ、使ヒ得ラル、如キノ疑モゴザイマスルガタメニ、此文字ヲ加ヘルト云フコトニ致シマシタ、從シテ之ニ關聯シタ

十一條ノ末項ノ「其ノ費額ハ豫算ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フ字ヲ、削除致シマシタ、原案ヲ見マスト云フト、最初ノ十五万圓ハ、豫算ニ關係ガアルカナイカ、分ナメヤウニシテ置イテ、十一條ニ至ラ、遠洋漁業ノ指導監督及遠洋漁業練習生養成ノ費用ダケヲ、豫算ア定メルト、斯ウアリマスルガ故ニ、總テ豫算ア定メルト云フコトヲ、明カニ第一條ニ規定ラスルタメニ、第一條ニ此文字ヲ加ヘテ、第十一條ノ末項ヲ削リマシタ、ソレカラ第五條ニ是ハ「製造」トシテアリマスノヲ「新造」ト云フコトニ致シマシタダケアリマス、此意味ハ遠洋漁業獎勵ノタメニ、遠洋漁業ニ適シマスル船舶ヲ新造セシメルコトヲ、獎勵スル意アリマス、若シシテ製造シタル船舶ヲ所有スルダケニ致シテ置キマスルト、一旦保護ヲ受ケタモノガ、其船籍が他ニ移轉シタル場合ニ、第二ノ者モ亦保護ヲ受ケルト云

フが如キ、權利ガアルノ嫌ヒアルモノト考ヘマスルガ故ニ、此「製造」ト云フ字ヲ「新造」ト

云フコトニ致シマシテ、以上ノ修正ヲ致シマシテ、總ノ委員會ハ全會一致ヲ以テ、決定

ヲ致シマシタ次第ニアリマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 直チニ二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス
○議長(松田正久君) 恒松君ノ動議ノ如ク致シマシテ、直チニ本案ニ付イテ第二讀會ヲ開クコトニ、異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、直チニ第二讀會ヲ開キ、本案ノ全部ヲ討議ニ付シマス

遠洋漁業獎勵法改正法律案

○恒松隆慶君(百五十九番) 委員長報告ノ通、異議ゴザイマセヌ

〔「贊成贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 委員長ノ報告通、御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 委員長ノ報告通御異議ガナケレバ、決定ヲ致シマス

○恒松隆慶君(百五十九番) 直チニ三讀會ヲ開イテ、確定セラレントコトヲ希望致シマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ恒松君ノ動議ノ如ク、直チニ三讀會ヲ開クコトニ致シテ、全部ヲ討議ニ付シマス

遠洋漁業獎勵法改正法律案

第三讀會

○山根正次君(三百五十八番) 緊急動議ガアリマス、議事日程ノ變更ヲ求メマス

○議長(松田正久君) チヨット御待チナサイ、發言ガナケレバ本案ハ第二讀會ノ通、決議通り決定致シマス

○山根正次君(三百五十八番) 山根正次君、事柄ハ何デアリマスカ

○山根正次君(三百五十八番) 事柄ハ人命ニ關係スルコトデアリマシテ、韓國ノ日本人居留地ニ流行スル猩紅熱調査ニ關スルコトデアリマス、此事ヲ申スタメニ、議事日程ヲ變更シテ貰ヒタイ

○議長(松田正久君) 今山根正次君ヨリ、緊急ノ動議が提出セラレマシテ、議事日程ヲ變更致シテ、直チニ建議案ヲ議シタイト云フコトデアリマスガ、議事日程ノ變更ニ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ議事日程ヲ變更致シマス、山根正次君

〔在韓國日本人居留地ニ流行スル猩紅熱調査ニ關スル建議案(山根正次君提出)〕

〔在韓國日本人居留地ニ流行スル猩紅熱調査ニ關スル建議案(山根正次君提出)〕

〔帝國政府ハ目下京城及仁川ノ日本人居留地ニ流行スル猩紅熱ノ原因茲豫防

治療ノ方法ニ就キ調査研究ヲ爲ス爲宜ク速ニ醫師ヲ韓國ニ派遣シ機宜ノ處置ヲ執ラレムコトヲ望ム

右建議ス

(山根正次君登壇)

○山根正次君(三百五十八番) 此在韓國日本人居留地ニ流行スル猩紅熱調査ニ關スル建議案ヲ提出シテ置キマシタガ、今日ハ此日程ニハ上リマセヌデゴザイマシテ、ナレドモ變更ヲ願ヒマシタトコロガ、御贊成ヲ得マシテ、誠ニ有難ウゴザイマス、此恐ルベキトコロノ傳染病ガ、韓國ノ京城及仁川ニ、流行ヲスルト云フコトデゴサイマスルニ依リマシテ、政府ヨリ是ガ調査委員ヲ出サレマシテ、其憂延ノ原因、豫防方法、救治ノ方法等ニ付イテ、調査ヲ致サレマシテ、サウシテ此機宜ノ處置ヲ取ラシムルコトヲ望ムニアリマスル、抑、此猩紅熱ナルモノハ、帝國ノ法律ニモアリマスル、即チ八種傳染病ノ一デゴサイマシテ、最モ恐ルベキトコロノ病氣ノ一デアリマスル、此病氣ハ即チ急性ノ腎臟炎デアルトカ、或ハ尿毒症ヲ發スルトカ、心臟ノ内膜炎等ヲ發シテ、ソレガタメニ死スル者ガ多イノデアリマスル、此病氣が今ヤ仁川ニ或ハ京城ニ、非常ナル流行ヲ極メテ居ルノアリマシテ、昨秋以來韓國政府ノ顧問タル内田工學士ハ、其病氣ニ斃レタノデアリマスル、幣原文學博士モ其病氣ニ罹タノデアリマスガ、幸ニ命ヲ全ウシテ居リマスルナレドモ、其以來大變ニ此病氣ガ居留地ニ蔓延致シマシテ、サウシテ或ハ一家三人ノ子供ヲ失ヒ、或ハ妻ハ夫ヲ失ヒ、夫ハ妻ヲ失フト云フヤウナ慘況ニナシテ、學校ノ如キハ之ヲ閉デネバナラヌト云フマデニ至ツタノデアリマスル、冬ニ至ツテ此病氣が全然衰頼致シマシタカラ、一月頃ニハ定メテ此病氣ガ、撲滅スルアラウト云フ考ヲ、居留民ハ抱イテ居リマシテ、が、豈計フンヤ一月ニ至ツテ、此病氣が益盛ニナシテ、客月二十四日以來、學校ハ閉デネバナラヌト云フ次第ニナシテ居リマス、然ルニ是等付イテノ豫防方法ト云フモノガ十分ニ行ハレヌ結果ハ、其所ニ居ルトコロノ人民ハ、日本帝國ニ歸シテ來ルト云フヤウナ鹽梅デアリマスル、若モ斯ウ云フコトカラシテ、僅ニ内地マデ歸ルニハ、此所カラ鹿兒島ニ往クヨリハ、遙ニ容易ク歸レルノデアリマスルが故ニ、此病毒ヲ内地ニ持來ラレタ、ドウデゴザイマセウ、日本帝國內ニモ此病氣ノナイコトハナイ、併ナカラ新シトコロノ病氣ニシテ、或ハ馬關ニ、或ハ長崎ニ、或ハ福岡等ニ持ツテ參リマシタ際ニ於テハ、其際ニ於テ大ニ狼狽ヘテ、豫防方法ヲ講ズルト云フヤウナコトハ、甚ダ手緩イコトデアラウト思ヒマス、且又此傳染病ヲ豫防スルト云フコトハ、僅ナ時代ニ豫防スルノガ本當デ、マルデ無イトキニ豫防スルノガ、一番易イ、少數ノ時ニ於テ、之ヲ叩キ付ケルノガ宜ノデアリマス、シテ見レバ朝鮮ニ於ケルトコロノ傳染病ノ如キ、朝鮮政府ニ於テ、豫防法ナドニ云フモノハ、殆ド無イ、否ナ、何ニモ無トイ言ツテ宜イ、サウ云フ結果カラシテ、我居留民ニ大ナル危害ヲ與フルノデアリマス、ソレノミナラス此軍國多事ノトキニ於テ、此傳染病が流行シマシタナラバ、非常ナル困難ヲ極ムモノデアラウト信ズルノデアリマス、韓國ノ即チ京城ニハ、日本ノ兵營ガアル、即チ駐屯兵が居ル、或ハ仁川ニ於テハ兵站部ノ兵が常ナル軍隊ニ困難ヲ與フルコトニナルテアラウト信ズルノデアリマス、韓國ノ即居ル、是等ニ持ツテ往クテ、若モ此病氣ガウツテ參リマシタナラバ、ドウデアリマセウカ、非爭ノ際ニ於テ、困ツタモノハ何デアルカ、軍隊ニ於テ非常ニ赤痢ガ行ハレ、虎列拉ガ流行シ、マラリヤガハヤリ、實ニサウ云フモノ、タメニ、非常ニ金ヲ潰シテ居ルノデゴザイマスル、今ヤ海外デアリマスルナレドモ、韓國ノ居留民等ガ、サウ云フ鹽梅ニ困難ヲシテ居ルト云フ場合ニ於テハ、政府ハ直二人ヲ遣ハシテ、此病氣ノ蔓延シナイヤウニ、或ハ内地ニ持ツテ來サセヌヤウニ、軍隊ニ此病氣ノウツヌヤウニ——勿論軍隊ニ於テハ、軍隊ノ衛生が嚴重デゴザイマシテ、幸ニ斯ノ如キ病氣ハ、ナイト云フコトデアリマスルナレドモ、

イッ何時、此病氣が蔓延ヲシテ往々ヤモ、分ラナイノデアリマス、デアリマスルガ故ニ、私ハ此際ニ政府ハ宜シク調査員ヲ送ルガ宜イ、内務省ハ文部大臣ノ所謂新智識ヲ持シテ居ルトコロノ學者モ、衛生局ニ居ル、或ハ一年ニ十六万圓モ金ヲ支出シテ居ルト云フ、傳染病研究所ナルモノモアル、此等ノ所ニハ、立派ナル人々ガ居ルノデアルカラ、進ニテ之ヲ研究シテ、豫防撲滅ノ方法ヲ圖ルノガ本當デアルニモ拘ラズ、マダ今日マデ人ヲ出サナイ、ウム、猩紅熱カ、是位ノモノナラ宜カラウト云フ考デ、若モ怠ッタナラバ、此傳染病が蔓延ヲ致シマシテ、非常ニ困難ヲ極ムルトキガアルニ違ヒナイ、人々ハ病氣ノトキニハ分ヌガ、其結果ヲ見テ、非常ニ金ヲ使ヒ、ソレガタメニ人ヲ非常ニ要スルコトニナラヌヤウニ、今日ヨリ豫防方法ヲ講ジサセルト云フコトガ、必要デアラウト思ヒマス、是等ノ調査ニ付キマンテ、一日モ早ク政府ハ人ヲ派出シテ、豫防撲滅ノ方法ヲ講ジラレルト云フコトニナリマシタナラバ、居留民ノ秩序安寧ヲ保タセテ、内地ニ傳染病ヲ持來サセルコトナク、或ハ軍隊ニ此病氣ヲウツスコトナク、非常ニ完全ニ往クコトデアラウト思ヒマス、此段建議ヲ致スノアリマス、ドウカ満場ノ御賛成ヲ願ヒタイノデアリマス

○議案(松田正人君) 北建議案ヲ討議ニ付シマス

○恵松隆慶君（百五十九番）此建議ハ、九名ノ委員ヲ議長カラ指名ニナランコトヲ希望致シマス

○議長（松田正人） 贊成者、反対、賛成者の方に

〔卽決又〔委員附託ト呼フ者アリ〕

○議長(松田正久君) 委員附託ニ成規ノ賛成ガアリマスカラ、採決致シマス、念ノタ

メニ尙宣告ヲ致シマスガ、本案ヲ委員二附託シテ調査セシムルト云フ動議が、出テ居リマ

スカラ、ソレヨリ先キニ決ヲ採リマス、恵松君ノ動議、即チ建議案ノ委員二附託スルトモ、
ノ元ニ實成者、犯立ヲ請ムマズ

ア説三贊成者、起立少數

○議長(松田正久君) 少數デアリマス——本案ニ付イテ決ヲ採リマス、本案ヲ採用

スルニ同意者ハ起立ヲ望ミマス

議長（公田正八吉）　起立者　多數
多數アリマスレカラ、本案ハ採用サレマシタ——議事日程第一

○議長(松田正介君) 多數の方よりマルカラ 本第ノ投票ナリ
二十級第一廿一ハ、同一委員ニ付託サレテアリマスルカラ、委員長ヨリ同時ニ報告ヲ

致シマス——中西新作君

災害地地租免除ニ關スル法律案 第二讀會ノ續(委員長)

第二十
（武富時敏君外三名提出）
第一讀會ノ續報告

第二十一
災害地地租免除ニ關スル法律案
第一讀會ノ續(委員長報告)

第三二 中西新作君外一名提出

○中西新作君（二百九十七番） 災害地々租免除ニ關スル法律案、此委員會ハ隨

○中西新作(「一百九十七番」)、災害地ニ於ケル事例、此ノ委員會ニ於
分經過が長ウゴザイマシタ、第五回ノ委員會ヲ開キマシテゴザイマス、最初ノ委員會ニ於
於キマシテ、政府委員ニ對シテ同意アルヤ否ヤフ、質問致シマシクトコロガ、政府委員ニ於
於テハ、同意が出來ナイト云フノ答アリマシタ、委員會ニ於キマシテハ、水害地ニハ忍

第二十 災害地地租免除三關スル法律案 第一讀會ノ續 (委員長)

(武富時敏君外三名提出)

第一讀會ノ續

卷之三

スル法律案、此委員會

シマシタトコロガ、政府未

於キマシテハ、水害地

租ヲ與ヘニヤナラヌガ、其他ノ災害地ノ免租ニハ、同意が出來ナイト云フハ、ドウ云フ理由デアラウカト云フコトヲ、質問致シマシタコロガ、政府委員ハ水害地ハ非常ニ異狀ヲ來スガ、其他ノ災害ハ地面ニ異狀ヲ來ザルが故ニ、ツレ故ニ其他ノ災害地ニハ、免除ヲ與ヘザルコトニナスト云フ答アリマシタ、委員會ニ於キマシテハ、水害地ガ若シ異狀ヲ生ジタルトキハ、是ヲ荒地ノ届ヲナシテ、起シ返シヲ爲スマテハ、數箇年地租ノ免除ヲ得ニハ、作り土、上土ニ龜裂ヲ生ズルノミナラズ、地盤土マデモ龜裂ヲ生シテ、一滴ノ水モ溜メルコトが出來ナイ、ソレ故ニ皆無ト相成リマス、因テ其年ノミナラズ、翌年ニ至ラテモ其地盤ヲ又作り直サナケレバ、水ヲ溜ムルコトハ出來マセヌ、水害地ヨリモ却テ旱害地ノ方が、地質ニ異動ヲ生ジマスル理由ヲ述ベマシテ、尙同意ヲ求メマシタケレドモ、政府委員ニ於テハ政府ノ考ハ、大キニ異シテ居ル、委員會ノ考トハ違フカラト云フコトデ、同意ハ出來ナイト云フコトデアリマシタ、因テ委員會ニ於キマシテハ、然ラバ水害地ヲ除クノ外、其他ノ災害ニ依テ生ジタル國庫金ノ減ズルモノガ、何程デアルカト云フコトヲ問ヒマシテ、調査ヲ致シマシタコロガ、明治二十四年ヨリ明治二十六年ニ至ル十三箇年ノ平均ニテ、水害ノ免除ヲ除キ、其他災害ノ免除、又ハ猶豫ニナッタ地租、之ヲ平均シテ、一箇年ニ五万六千圓ニ當ルノアリマス、因テ五万六千圓位デ、人民ニ満足ヲ與フルコトが出來ルナラバ、是非トモニ此災害地免除ハ、同意ヲ致シテ貰ヒタイト云フノデ、其日ハ散會ヲ致シマシタ、翌日ハ大藏大臣ノ出席ヲ求メルコトニ致シマシタケレドモ、大藏大臣ハ出席ヲ求メテ相談ヲ致サウヨリモ、彼ノ百三十銀行ニ付イテ、大阪銀行員が泣付イタ通ニ泣付イテ、御同意ヲ求メルガ宜カラウト云フノ評議ニナリマシタ、免除スル場合ニ至レバ、古キニ遡シテ検見ヲ致サナケレバナラヌ、其同意ヲ致サミル理由ト云フモノハ、災害地ニ猶豫ヲ與ヘタル、二十六年度ノ速記録ヲ見テ視レバ、明瞭スルカラ、ソレヲ見ルが宜イト云フコトデアリマシタ、私ナドハ其日ハ引取テ散會致シマシタ、其翌日ヨリ速記録ヲ調ベテ見マシテモ、ドウモ水害ニハ免除ヲ與ヘ、其他ノ災害地ニ免除ヲ與ヘラレヌ理由ヲ見出シマセヌ、如何ニ調べテモ、見出シマセヌカラ、尙開會シテ、其時ハ政府委員出席ナクシテ散會シマシタ、本月ノ二日ニ開會致シマシテ、之ニハ政府委員モ出席モアリマシタカラ、二十六年度ノ速記録ヲ調ベテモ、何モ災害地ニ免除

居ルモノト信ジマス、因ダニ委員會ニ於キマシテハ、武富氏外四名提出ノ議案、本員外一名ヨリ提出ノ議案ト合併致シマシテ、議決ヲ致シマシタ、然ルニ少シ修正ヲ致シマシテ御座ル、武富君外四名提出ノ議案ニ、本員外一名ノ提出ノ議案ニアル「本法ニ依リ免除シタル地租ハ法律上總テノ納稅資格中ヨリ控除セズ」トアルノヲ加ヘテ、武富君ノ提出議案中「本法ニ依リ地租ヲ免除セラレタル者ハ納稅ニ因ル法律上ノ資格ヲ失フコトナシ」と、之ヲ削除致シマシテ、本案ニ決シマシテゴザイマス、此段報告致シマス

○議長(松田正久君) 右ニ案ハ同性質ノモノアリマスカラ、一括シテ議題ニ供シマス
〔政府委員若槐禮次郎君登壇〕

○政府委員(若槐禮次郎君) 本案ニ付イテハ、一讀會ノ初二、政府ノ意志ヲ容レラレズシテ、此法律案ヲ可決致サレタニ付イテハ、再び茲ニ申上ゲナケレバナラスト思ヒマスガ、今日ニ於テモ、政府ハ此案ニハ御同意ヲ申上兼ネマスト云フノハ、如何ニモ斯ウ云フ災害ノトキニ、政府ハ無情ニモ、何等ノコトモゼヌカト云フ、サウデハゴザイマセヌモ、斯ウ云フ場合ニ處スル法律トシテ、地租ノ延納法案ト云フモノヲ、一昨年通過シテ、今日法律ニナシテ居リマス、現ニ災害ニ逢ウタ人ハ此法律ニ依ラテ、延納ヲ願出テ居る者ガゴザイマス、サウ云フコトデアリマスカラ、此以上ニ立法セラル、必要ハナイト思フノデアリマス、斯ウ云フ理由デ御同意ヲ申サヌノアザイマス

○議長(松田正久君) 発言ノ請求者ナケレバ、本案ニ付イテ第二讀會ヲ開クヤ否ヤ

○議長(松田正久君) 多數デゴザイマス、第一讀會ヲ開クコトニ致シマス

○多田作兵衛君(百三十二番) 直チニ開カレントラ……

○議長(松田正久君) 直チニ讀會ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ討議ニ附シマス

灾害地地租免除ニ關スル法律案

第二讀會

(谷澤龍藏君「異議アリ」と呼フ)

○議長(松田正久君) 委員長ノ報告通、決定ヲ致シマスガ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、委員長ノ報告通決定致シマス——直チニ第三讀會ヲ開ク御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス、發言者ナケレバ委員長ノ報告通り決定シマス

○議長(松田正久君) 二讀會決議通確定致シマス——議事日程第二十一、國有土地森林原野下戻申請期間ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ繼續シ、委員長ヨリ報告致シマス、井上甚太郎君

國有土地森林原野下戻申請期
間ニ關スル法律案(宮古啓三郎 第一讀會ノ續(委員長))
君外四名提出

○井上甚太郎君(五十二番) 簡單デゴザイマスカラ、此席カラ述ベマス、本案ハ慎重ニ數回審議致シマシテ、委員會ハ多數ヲ以テ可決致シマシタ、本案ハチヨツト一言申員會議決ノ通、賛成通過セラレシコトヲ望ミマス

〔政府委員和田彦次郎君登壇〕

○政府委員(和田彦次郎君) 本議題ニ付キマシテハ、政府ノ意志ヲ明ニシテ置ク必要ガアラウト考ヘマスカラ、一言致シマス、本案ヲ提出ニナリマシタ理由ハ、本案ノ理由書ニモ明記シテアリマスル通、下戻期間が極メテ短急デアルカラ、甚ダ不都合ナリシテ、本案ヲ提出サレタニ過ギヌノデアリマス、然ルニ此國有土地森林原野下戻申請期間ニ付キマシテハ、決シテ短急デゴザイマセヌ、成程三十二年ノ四月ニ公布ニナリマシタ、九十九號ノ期間カラ申シマスレバ、短急ト云ハル、カ知レマセヌガ、是ニハ從來ノ歴史ガゴザイマス、一應短急テナイト云フコトヲ説明スルタメニ、從來ノ歴史ヲ述ヘヤウト考ヘマス、本官有ニ編入シタモノヲ、訂正スルノ趣意ヨリ起シテモノデゴザイマスガ、此民有ノ土地ヲ誤シテ、官有ニ編入シタ場合ノモノヲ、民地トシテ返還スルコトニ付イテハ、地租改正當時ヨリ、ズット引續イテ民間ヨリ此事ヲ申請シタキニハ、理由ヲ正シテ明カナルモノヲ、抑々下戻ノコトハ申スマデモゴザイマセヌ、改租當時ニ於テ誤謬ノ結果トシテ、民有ノモノノナシ來シテ居ル、然ルトコロニ十二年ニ於キマシテ、政府ハ從來申請シタモノヲ、地方官ニ委ネテ、此事ヲ處理シテ居タノデハ、區々マチニニナリマスクタメニ、農商務省ニ於テハ省令二十三號ヲ以テ、是ハ斯様ノ手續ニ依テ、處理セヨト云フコトヲ、二十三年ノ四月ニ訓令ヲシタ、而シテニ十三年ノ四月以來、之ヲ受理シテ調査ノ結果、確實ノモノハ還付シテ居リマシタ、尙三十年ニ至シテ、地方カラシヲ區々取扱ヒマスルノモ、整理上如何カト考ヘマシタタメニ、中央政府ニ於テ此事ヲ調査シテ、十分ニ道理ノアルモノハ還附スルコトニ、取扱フコトニ改メマシタ、而シテ第十三議會ニ於テ、九十九號ノ法律ヲ議シテ居リマシタ場合ニ、政府ノ原案トシテハ、三十二年ノ十二月三十一日限リト期間ヲ定メテ原案ヲ、一應御覽ニナレバ、左様ニナシテ居ルガ、然ルニ此議院ニ於テ之ヲ御修正ニナシテ、三十二年十一月三十一日限リテハ、如何ニモ之ハ短急デアルカラ、三十二年ノ六月三十日マテ、シテ延バシテ貴ヒトイト云フコトニアツタ、其際ニ於キマシテモ、政府ハ單ニ半箇年ヤ一箇年ヲ延バヌニアラズ、地租改正當時ヨリ今日マデ引續イテ居ルカラ、短急トハ認メマセヌ、併ナガラ議院ニ於テ三十三年六月三十日マデ、延バス必要ガアルト云ハル、ナラバ、敢テ不同意ハ申シマセヌト云フコトデ、政府ノ案ヲ尙延バシテ、三十二年六月三十日ト云フ期間ニ定メマシタ、而シテ此三十三年ノ六

月三十日が期限デアリマシテモ、其期間内ニ申請シタ書類ニ於ア、僅ニ申請ノ形式ガ不備ナルタメニ、却下スル如キハ、如何ニモ不親切デアルト云フコトヲ、政府ハ認メテ、特ニ三十二年十月省令百十九號ヲ發シテ、期間内ニ申請シタモノニアレバ、形式ニ違ウタタメニ却下スルハ、如何ニモ請願者ノ意志ヲ無ニスル傾キガアルカラ、ソレハ形式ノコトヲ尙修正セシメテ、受理シテ宜イト云フマデニ、政府ハ注意シテ、省令ヲ發シテ居ルノデゴザイマス、斯ノ如ク殆ド今日ヨリ遡テ計算致シマスレバ、一千幾年間處理シ來テ居リマスカラ、決シテ短急ナリトノ理由ヲ以テ、尙延期ト云フ、此案ニ對シテハ、政府ハ同意スルコトハ出來マセヌ、事實ニ於テ斯ノ如ク短急ナインミナラズ、一方ニ於テハ御承知ノ如ク、國有ノ森林ヲ整理經營スルタメニ、積年此事ニ從事シテ居ルノデ、之ヲ尙延期タケト云フコトニ致シマスレバ、一方ニ整理經營ノ上ニ、非常ナ差支ヲ生ズルノデゴザイマス、故ニ如何ニモ折角ニ委員會デモ審査ニナリ、本案茲ニ議セラル、場合デアリマスカラ、同意致シタイガ、今御聞キ下スツタ理由由デゴザイマス故ニ、絕對ニ此案ニハ政府ハ反対ヲ致シマスル、願クハ唯今ノ事情御諒察下サイマシテ、本案ノ否決ニナランコトヲ望ミマズ

○坂口仁一郎君(二百四十八番) 私ハコチラカラ申シマスルガ、先刻委員長カラ報告ガゴザイマシタガ、私ハ能ク聽取ルコトガ出來マセデシタガ、併ナガラ私モ委員ノ一人デアリマスケレドモ、委員會ノ意見トハ全ク反対ノ意見ヲ持テ居リマス、唯今政府委員ハ、山林ノ經營整理が出來ナイト云フコトデ、不 同意ヲ云ハレタガ、私ハサウニ云フ考デ反対スルノデハナイ、此法律ハ地租改正ノ際、民有ノモノヲ誤ニテ國有ニシテ、其下戻ヲスルコトが出來ズニ居ル不幸ノモノガアルカラ、之ヲ救ヒタイト云フ精神ニ出テナリニアル、其趣意カラ云フト、適當ノ方法ト云ヘルガ、又一方ニハ非常ナ弊害ガアルコトハ、獨リ私ノ云フノミナラズ、提案者ノ人々モ悉ク御認メニナシテ居ルテアラウ、ドウ云フ弊害ニアルカ、改メテ申スマデモナイ、三十一年法律九十九號ガ發布シテ後、最モ其弊ガ多イコトヲ云フシテ居ル、所謂運動屋ト云フ如キモノガ出來テ、無智ノ村民ヲ欺イテ、運動費ヲ絞リ取ッテ、之がタメニ非常ノ迷惑ヲ受ケタト云フモノガアル、一方ニハ所謂運動屋ト云フ如キモノト、當局者ト云フモノト結托シテ、惡事ヲ働き、ソレガタメニ一時農商務省ハ醜聞ノ府トナツタト云フコトヲ、皆疑ツタ位デアル、或ハ懲戒免官ニナツタト云フコトモ聞イテ居ル、ソレデモ往カナイ場合ニハ、行政裁判所ニ持出シ、現ニ行政裁判所ニ提出ニナツテ居ルモノガ多クアル、今日マデノ行政裁判所ニ出テ居ルモノハ、千四百六十五件ト云フモノガアル、甚シキニ至シテハ、行政裁判所ノ判官トモ結托ヲシテ居ルト云フヤウナ風説ガアル、マサカニソンナコトガアラウトハ、信用ハ致シマセヌガ、ソレ程ノ風説ノアルマデニ、惡事ノ行ハレルト云フコトハ、是ニ依テモ想像シ得ラル、コトデアルト信ジテ居ル、而シテ是ガドレ程サウ云フ弊ガ多イカト云フト、是ハ單ニ想像デモ出來ルコトデゴザイマスル、幾フカ事實ノ上ニ、ハッキリ當嵌メタモノデハゴザイマセスケレドモ、是ニ幾フカ近イトコロノ例ヲ、調査ヲ舉ゲテ御話シ申スコトが出來得ルト思フ、ソレハ此件ニ關シマシテ、人民カラ申請致シマシタモノハ、法律六十九號ニ依テ定メラレマシタコロノ、三十三年ノ六月マデニ、人民カラ申請致シマシタ、其總計數ガ、幾ラカト申シマスト、二万六百二十二件アル、是程ノ多數ノモノデゴザイマスガ、此中當局者ガ認メテ相當ノ

理由ガアル、確實ノ證據ガアルト認メマシテ、許可ヲ與ヘタモノガ、幾ラアルカト云フト、僅ニ千二百六十九件ト云フモノシカナイ、殆ド十六分ノ一二足リナイ少數デアル、勿論是ハ昨年十一月末ノ調デ、其後許可ニナツタモノハ、マダ三十件バカリモアルサウデス、又處分ノ出來ヌモノガ、二百幾ラアルトモ聞イテ居ル、ソレ等ノモノヲ引イタトコロガ、十六分ノ一ノモノガ、十五分ノ一二減ル位ノコトデゴザイマシテ、多クノ差ト呼フ者アリ、斯ノ如キ有様デゴザイマスカラ、弊ノ多イカ少ナイカト云フモノハ、確ハナイノデアル、此差引致シマシタ殘リノ一万九千幾ラト云フモノハ、殘ラズトハ私ハ申シハ致シマセヌガ、此中ノ大部分ハ、兔ニ角イカサマナモノデアツテ、大抵ハ此運動屋ノ手ヲ經タモノデアラウト、想像致シテモ、多クノ差支ハナイト考ヘテ居ル、(ヒヤー)ト呼フ者アリ、斯ノ如キ有様デゴザイマスカラ、弊ノ多イカ少ナイカト云フコトハ、確カニ是ダケデモ——此事實が證明シテ居ル、ソコテ今後此法律が通過致シマシタモノト致マシテ、之ニ依テ恩惠ヲ受ケルモノハ、ドレ程アルカト云フト、私ハソレヲ調ベル材料ニ持タナイガ、幸ニ此提案者ノ一人タル宮古君ガ、能ク御調ニナツテ居リマスルデゴザイマスガ、其説明ニ依リマスト、是迄出願致マシタモノ、總數ノ一割位ハ、マダ殘ラテ居ヤウト云フ二万六百一十一ト云フモノハ、一千六十二ト云フモノハ、沈ンデ居ルト云フモノニナル、此一件ト云フ中ニモ、村ノ共有地ナドニナツテ居ルノモアリ、數箇村或ハ十數箇村ニ瓦ツテ居ルモノモアル、此地ニ參ツテ取調ベマシテ、關係人別ヲ調ベタナラバ、或ハ幾十万幾百万ト云フ、數ニモナルカモ知レマセヌ、アルカラ、斯ノ如キ多數ノモノガ、不幸ノ淵ニ沈ンデ居ルト云フコトデアルカラ、之ハ國家ノ一大事デアル、其儘ニ捨テ、置ク譯ソレガデス、今マデスラサウデス、是カラ後ハ決シテ此比例通デハナイ、兔ニ角民有ノモノニハ往キマセヌガ、ソレハ一千幾ラト云フモノハ、悉ク正當ノモノト見テカラバ、計算ニナリマス、今マデノ經歷ニ付イテ見マシテモ、其十五分ノ一位シカ、留マルモノガナイ、風袋バカリ大キクトモ、詰リ後トヘ留マルモノ、正味ヲ拾ヒ上ゲテ見ルト、幾ラモナインデアル、ソレガデス、今マデスラサウデス、是カラ後ハ決シテ此比例通デハナイ、兔ニ角民有ノモノ數十町、若クハ數百町ト云フモノヲ、誤ブタト云ヒナガラ、國有ニナツテ居リマシテ、其モノヲ誤ブテ居ツタト云フコトヲ、發見致シマシタナラバ、如何ニ心良シノ者ニアリマシテモ、今日マデ打捨テ、置カレル筈ハナイ、然ルニ今日マデ幾ラカマダ残ラテ居ルモノガアルト云フニハ、イロ／＼已ムヲ得ザル事情ノモノモゴザイマセウガ、大部分ハ正確ナ證據ヲ持タスカラ、已ムヲ得ズ打捨テ、置クモノガ多イノデアル、然ルニ今日ノ有様ヲ見マスルト、運動屋ト申スモノハ、ナカ／＼其邊ノコトニハ抜カリハナイ、證據ノ發見ト云フヨリハ、今日ハ證據ノ製造ト云フ方ニ、努メテ居リハセヌカト疑フ事實モ——サウ云フヤウナ事實モ、私ハ少シハ聞イタコトガアル、デゴザイマスカラ、之ガ細カニ吟味ヲ致シテ往ツタナラバ、今マデガ十五分ノ一デゴザイマシタナラバ、或ハ二十分ノ一ニナルカ、五十分ノ一ニナルカ、兔ニ角正味ヲ拾上ゲテ見レハ風袋バカリ、殘ルト云フモノハ、僅シカアルマイト想像致シマス、或ハ其殘ル中ニ、事實氣ノ毒ナ事情ノモノハ、證據不十分ノタメニ受理サレスデ、或ハ巧ミニ製造致シマシタ證據ガ、採用ニナルト云フヤウナ、妙ナ結果が出来テ來モノトモ、斷言ノ出來ナイヤウナコトガアル、何レニ致シマシテモデス、是ハ利ト云フモノガアルニハ相違ナイ、相違ナイガ、兔ニ角害が多數デアルト見ナケレバナラヌ、勿論之ハ宮古君ナドモ、害ガアルト云フコトハ、御認メニナツテ居ルガ、斯ウ云フコトヲ宮古君ナドハ、モソトモ、斷言ノ出來ナイヤウナコトガアル、何レニ致シマシテモデス、是ハ利ト云フモノガアルニハ相違ナイ、相違ナイガ、兔ニ角害が多數デアルト見ナケレバナラヌ、勿論之ハ宮古君ナドモ、害ガアルト云フコトハ、御認メニナツテ居ルガ、斯ウ云フコトヲ宮古君ナドハ、モソトモ、斷言ノ出來ナイヤウナコトガアル、何レニ致シマシテモデス、是ハ利ト云フモノガアルニハ相違ナイ、相違ナイガ、兔ニ角害が多數デアルト見ナケレバナラヌ、勿論之ハ宮

ノ、悪ルイト云ダトコロガ、實際アルモノハ仕方ガナイ、原因ヲ取調ベテ、原因ニ付イテ必シモ論ズル必要ハナイ、原因ハドウテゴザイマシテモ、其事實ニ顯ハレマシタコロノ結果ガ、宜カツタナフバ、ソレハ利ト云フモノ、惡ルカツタナラバ、ソレハ弊ト云ハナケレバナラヌ、萬一一々原因ニ迦ニテ見マシタナラバ、宮古君等が救ツテヤリタイト云フモノガ、或ハ救ツテヤラズトモ、宜イト云フ結果ニナルカモ知レマセヌ、ソレハドウ云フコトアルカト云フト、今日町村ノ民有ノモノガ、國有ニナッテ居ルト云フヤウナコトヲ、苦情ヲ唱ヘテ、全國ニ致シマシタナラバ、隨分何百万町歩ト云フモノニナッテ居ルカモ知レマセヌガ、之ガ悉ク地租改正ノ際ニ、手續ヲ誤テ、斯ウナッタモノアルカト云フト、ソレハ誤ツテヤタモノモアルニハ相違ゴザイマセヌガ、ソレバカリデハナイ、承知シナガラ故意ニヤツタモノガ多イ、當時此山林ヤ原野ノ間ニ、他村ノ者ガ這入ツテ來ル筈モナイカラ、國有ト云フコトニシテ置イテ、詰リ此村デ自由ニ出來ルカラ、租稅ヲ納メナイダケが得ナト云フヤウナコトデ、殊更ニ國有ニシタモノモ、幾ラモアル、斯ウ云フ横著カラ起フテ、今日マデ二十何年間、脫稅ヲシテ居タト云ダテモ宜シイ、是等ノモノハ救ウテヤルノ必要ハナイト云フテ宜シイガ、私ハサウ云フ酷ナコトヲ申スノデアリマセス、憎ムベキ——甚ダ憎ムベキ處置デハゴザイマスガ、其實ハ憫レムベキモノデ、宮古君等が此運動屋ノ手段ニ掛ルノガ惡ルイト云ハレルノ、無智カラ起ルノデゴザイマス、今ノヤウナコトヲ致シテ居リマスノモ、詰リ無智カラ起

今日イロ／＼ノ弊害ノ實地ニ行ハレラ居ルコトハ、大抵諸君ト雖モ、御分リニナッテ居ルダラウト思フ、此法律案が出来マスルト云フト、益々其弊ヲ大キクスルバカリデ、詰リ利スルトヨロト云フモノハ、今申上ゲマシタヤウニ、誠ニ一小部分ニ止マルダラウト思フ、ソレデヤレルナラ、救ウテヤリ、ソレト同時ニ保護シテヤラナケレバナラヌ、私ハ反対致シマス、尙イロ／＼御話申上ゲタイコトモアリマス、委員會ノ事ニ付イテモ、申上ゲタイコトハアリマスケレドモ、ソレ等ハ申上ゲマセズ、大體ノ要旨ダケラ申上ゲレバ宜イダラウト心得マシテ、大略申上ゲマス

○議長(松田正久君) 河井重藏君

○宮古啓三郎君(百六十九番) チヨクト私ニ譲リマシタカラ……

(「簡単ニ願ヒマス」ト呼ヒ「簡単ニシナイト賛成シナイ」と呼フ者アリ)

○宮古啓三郎君(百六十九番) 極ク簡単ニ申上ゲマスカラ、ドウガ御安心ナスダテ御聽取リフ願ヒマス、此案ハ私が提出者ノ一人ゴザイマスカラ、最モ責任ノアルモノデ、又此案ヲ勿論擁護セネバナラヌ者ゴザイマス、私共が此案ヲ提出致シマシタノハ、深ク信ズルトコロガアラ致シマシタノア、決シテ無責任ナルコトヲヤツタ積リテハ、聊カナインオアリマス、ドウカ其頗末ニ付キマシテ、少シク御聽取リ願ヒマス、此案ト云フモノハ今度ノ議會ニ始メテ出タ案デハナインデアル、御承知ノ通ニ、第十六議會ノトキト、第十八議會ノトキニ於キマシテ、既ニ可決ニナッテ居ル、而モ満場一致アリテ可決ニナッテ居ル案ニアリマス、故ニ今日ニ至リテ之ニ反対スルト云フモノハ、如何ナル理由アルカ、私ハ分ラナ、ナゼ今日反対デアルナラバ、是迄ニモ此案ヲ通過サセテ居タノデアルカ、如何ニモ不

可思議千萬ニ感ズルノアリマス、又唯今政府委員ノ意見ヲ聽イテ見マスト云フト、一度ハ非常ニ反対ノ意見ヲ表サレテ居タノデアリマス、然ラバ十六議會ノ當時ニ於テ、何故ニ此案ニ賛成シテ居タガ、十六議會ノ當時ニ於テ、此案が出マシタト云フモノハ、政府トソレカラ其時ノ特別委員トノ間ニ、殆ド協定ノ結果ニ出テ居ルノデゴザイマス、殆ド此案ヲ出スト云フコトヲ、條件トシテ、松島君ナドカラ出シタ、下戻施行法案ト云フモトヲ、否決シテ居ルノデアリマス、サウ云フコトカラシテ、此案ト云フモノハ、政事キニ於テ、漫ニ前議ヲ翻スト云フコトハ、私ハ院ノ面目ニ關スルコトデアルト存ジマスノ如キ譯デアタナラバ、今日迄ニ既ニ反対ノ意見ヲ云ハナケレバナラヌ、然ルニ今日ニ至リテ、始メテ反対ヲ云ハレルト云フコトハ、如何ニモ不可思議千萬ト私ハ感ズルノデゴザイマス、又議員ノ諸君ニ於キマシテモ、是迄ニヨ何等ノ異議モナシニ通過セテ居タノデアルカラシテ、今日ニ於テ之ニ反対ヲサレル理由ハ、聊カナカラウト考ヘルノデアリマス、又已ムヲ得ナイ場合ハ、格別ゴザイマスケレドモ、是已ムヲ得ナイ場合ガ生ジマセント云フダケノ話アル、決シテ國家が個人ニ恩惠ヲ著セル譯デモ何デモナインデアリマス、當リ前デゴザイマスナラバ、司法裁判所ニ訴ヘテ、己レノ財産ヲ御前ニ取ラレタノデアルカラ、己レニ返セト云フ請求が出來ネバナラヌノデアリマス、又此事柄ハ出來ルト云フヤルト云フダケノ話アル、決シテ國家が個人ニ恩惠ヲ著セル譯デモ何デモナインデアリマス、當リ前デゴザイマスナラバ、司法裁判所ニ訴ヘテ、己レノ財産ヲ御前ニ取ラレタノデアルカラ、己レニ返セト云フ請求が出來ネバナラヌノデアリマス、又此事柄ハ出來ルト云フヤルト云フダケノ話アル、而シテ官ニ於テ之ヲ取上ゲテシマフト云フノハ、甚ダ理ニ於テ不當ナ話ト思フ、如何ナル理由ヲ以テ民ノ物ヲ取上ゲテシマフカ、民ノ私有財産ヲ、國ノタメニ取上ゲラレルト云フ不幸ハ、世ノ中ニ少ナイコトデアラウカト思フノデゴザイマスカラシテ、國家ト云フモノハ、斯ノ如キモノニ對シテ、漫ニ之ヲ取上ゲテシマフナド云フコトハ、最モ慎マナケレバナラヌ、個人ノ財産アルナラバ、之ヲ返シテヤルト云フノガ、當然ノ筋合デラウト私ハ考ヘルノデゴザイマス、今政府委員ノ意見ヲ聽イテ見マスルト云フト、此箇人ノ物ガ官ノ物ニナッテ居タ、誤ツテ居ルト云フコトハ、分ニテ居リナガラ、ソレヲ個人ニ返シテヤラヌ、官ノタメニフンダクテシマフコトニナルノデアリマス、左様ナ不道理ナコトハ、世ノ中ニアルベキモノデナイ、國家ハ左様ナ小膽ナモノデナイ、個人ノ財産ハ何處マテモ保護シテヤラナケレバナラヌ、個人ノ物ハ何處マテモ返シテヤラナケレバナラヌノハ、國家ノ義務ニアラウト思フ、ソレデゴザイマスカラシテ、斯ノ如キコトニ少シバカリノ理由ヲ付ケテ之ヲ

タデハナインカラシテ、民ハ之ヲ知リテ居ラナケレバナラヌト云フノデアリマス、成程民ハ法律

ヲ知ラナケレバナラヌト云フコトハ、道理アル、道理アルケレドモ、諸君試ニ考ヘテ御覽ナサイ、立派ナ法律家ニアテモ、國ノ法律ト云フモノヲ、残ラズ知ニテ居ル人ガゴザイマスカ、法律家スラ國ノ法律ハ残ラズ知ラナイノニ、況ヤ山間避険ノ地ニ居ル山小屋ノ民ヲシテ、法律ヲ皆知ニテ居ルモノ認定スルト云フノハ、誠ニ不道理千萬ナコトデアラウト私ハ考ヘルノデアリマス、林野ノ多クアルハ、山奥アル、故ニ諸君ハ暫ク山國ノ人ニアズテ、ドウソ考ヘテ貰ヒタイノデアリマス、東京附近ニ居リマスモノハ、或ハ分リマスマイガ、山國ニ這入テ考ヘテ御覽ナサイ、先祖以來持ツテ來タ山ヲ取上ゲラレ、今其山ニ這入テ、一本デモ木ヲ伐ルト、直ニ盜伐ト云フコトニサレ、牢ノ中ニ拋込レル譯合ニナルノアリマス、自分ノ財産ト思ニテ居ルカラ、其山カラ木ヲ伐リ、之がタメニ牢ノ中ニ拋リ込マレルト云フヤウナ筋合ニ相成ルノデアリマス、實ニ此山小屋ノ民ハ、悲ムベキ境遇ニ立至ニテ居ルノデアリマス、左様ナ次第アリマスカラシテ、其點ヲ能ク考ヘテ戴キタイ、政府委員が云フトコロノ短急アナイコトニ付キマシテハ、今申シマスル通ノ次第、法律ヲ皆知ニテ居ルト云フヤウナ筋合ニ相成ルノデアリマスカラ、十分ノ斟酌シテ戴カケレバナラヌ、改租以來下如キ、期間ヲ定メタコトコロノ法律ト云フモノハ、今迄ナイ、成程二十三年ノ訓令モアッタラウ、三十年ノ省令モアタラウ、併ナガラ何レモ期間ヲ定メタコトハナイカラ、人民ノ方テ云フコトハ、言ヘヌノデアリマスカラ、十分ノ斟酌シテ戴カケレバナラヌ、改租以來下如キ、期間ヲ定メタコトコロノ法律ガアタテ、ドッコイサウハ往カヌト云ジテ、其以後ハ願フコトノ出來ナイ狀況ニ立到シタノデアリマス、政府委員ノ先達ノ答辯ニ依テモ、誤シテ期間ヲ經過シタダメニ、却下シタ件數ガ二百二十二件アリマス、是ハ私共ノ申シマスル事柄ヲ、十分ニ證明シテ居ルモノデアラウト思フ、右ノ通リノ次第アリマスカラシテ、此期間ガ一年二箇月デアタト云フコトガ、短急アタト云フコトハ、論ノナイコトデアラウ、他ノ事柄ニ付キマシテ、紙幣引換ノ期限其他延期ヲ與ヘテヤタモノハ、幾ラモ例ガアルノデアリマス、故ニ斯ノ如キ決シテ官カラシテ恩恵ヲ與ヘルノデナイ、人民ノ物ヲ人民ニ返シテヤルト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、延期ヲ與ヘテ人民ニ利益ヲ與ヘテヤルコトハ、何ノ不思議ガザイマスルカ、故ニ此事柄ヲ十分斟酌シテ、誤シテ官ニ取上ゲタル林野ハ之ヲ民ニ返スペキモノデアラウト思フ、ソレカラモウ一ツ、政府委員反對ノ理由トスルトコロハ、森林經營ト云フコトデゴザイマス、成程森林經營ニハ、多少ノ害ハアリマセウ、アリマセウケレドモ、併ナガラ森林經營ニ多少ノ妨ガアルカラト云ジテ、此人民ノ貴重ナル財產ヲ取上ゲテ宜イト云フ理窟ハ、何處カラモ出テ來ナイコト、思フノデアリマス、況ヤ今日ノ森林經營ノ有様ヲ見ルト、一向利益ト云フモノハナイノデアル、故ニ人民ニ與ヘテ人民カラ租稅ヲ取ルト云フ方が、幾ラ得策カ知レヌノデアリマス、故ニ森林經營ト云フ理由ヲ以テ、之ニ反對スルコトニ付イテハ、何等ノ理由ガナイコトデアラウト思フ、又坂口君ノ云ハレマスルトコロハ、運動ト云フコトガアタテ、弊害が出ルト云フコトデアル、成程弊害が出ルト云フコトハ、多少考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ運動ト云フコトハ、不幸ニシテ何ノ事ニデモ出テ來ルノデアタテ、是ハ世ノ中ノ「バチルス」ニアツテ、仕方ガナイ、ルノデアリマス、併ナガラソレハ或一部分ニアツテ、全部ニ對シテ運動ガアルト云フコトデモ

ナツテ、ドウソ考ヘテ貰ヒタイノデアリマス、林野ノ多クアルハ、山奥アル、故ニ諸君ハ暫ク山國ノ人ニアズテ、御贊成アランコトヲ希望シマス

〔討論終結〕ト呼フモノアリ
○議長(松田正久君) 討論終結ノ動議が出て居リマスガ、是ニ異議ハアリマセヌカ
ナイ、併シ能ク考ヘテ見マスレバ、運動ガ一部ニ起ルガタメニ、實際權利ノアル者ニ對シテ、其權利ヲ失ハシムルト云フ理由ガドニニアリマスカ、多少運動ガアタカラト云ウテ、民物ヲ返シテヤラヌト云フ理窟ハ、私ハドウシテモアルコトハナイト思フ之ヲ要スニ此案タルヤ、全ノ人民ニ對シテ、權利ヲ回復シテヤルト云フ案デゴザイマスカラ、ドウソ諸君ニテ、御贊成アランコトヲ希望シマス

〔討論終結〕ト呼フモノアリ

(「異議ナシ」)聲起ル

○議長(松田正久君) 御異議がナケレバ、討論終結ト認メマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 直チニ二讀會ヲ開クコトニ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議アリ」)ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議がアルナレバ、決ヲ採リマス、本案ニ付イテ二讀會ヲ開

クト云フコトニ同意ノ諸君ハ、起立ヲ望ミマス

起立者 多數

○議長(松田正久君) 多數アリマス、直チニ二讀會ヲ開クコトニ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」)ト呼フ者アリ
○議長(松田正久君) 然ラハ直チニ二讀會ヲ開キマス
國有土地森林原野下戻申請期間ニ關スル法律案 第二讀會
○恆松隆慶君(百五十九番) 政府ハ反對ヲ致シマシタガ、多少反對シテモ、是マズ本院ニ通ツタモノデアリマスカラ、本院ノ威嚴ヲ保ツタメニ、立派ニ贊成シテ宜シイ、委員長報告通異議ナシ

○議長(松田正久君) 委員長ノ報告ヲ討議ニ付シマス
(「異議ナシ」)ト呼フ者アリ
○議長(松田正久君) 委員長ノ報告通、御異議ハアリマセヌカ
(「異議ナシ」)ト呼フ者アリ
○議長(松田正久君) 初ヨリ反對論者モアリマシタカラ、決ヲ採リマス、委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ハ、起立ヲ望ミマス
起立者 多數

○議長(松田正久君) 多數デゴザイマスカラ、委員長ノ報告通リ決シマス

○恆松隆慶君(百五十九番) 直チニ二讀會ヲ開イテ、確定セラレンコトヲ望ミマス

○議長(松田正久君) 直チニ二讀會ヲ開クニ、御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」)ト呼フモノアリ

○議長(松田正久君) 御異議がナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

國有土地森林原野下戻申請期間ニ關スル法律案 第二讀會
○議長(松田正久君) 御異議がナケレバ直チニ二讀會ヲ開キマス

第三讀會

○議長(松田正久君) 二讀會ノ通御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、二讀會通り確定ヲ致シマス、議事日程第二十三行政執行法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

第一十三 行政執行法中改正法律案(尾崎行雄君外 第一讀會)

第一條乃至第六條中「行政官廳」ヲ「行政廳」ニ改ム

行政執行法中左ノ通改正ス

○尾崎行雄君(二百八十七番) 簡單ナル問題デアリマヌカ、此席ヨリ辯シマス、行政執行法中二行政官廳「トアル」「官」ノ字ヲ削^{アリ}テ「行政廳」ト改メタイト云フ案アリ

マルガ、其目的ハ官廳ト云ヘバ、市町村ヲ含マヌコトニナリマスル、官ヲ削^{アリ}テ行政公署ニマテ行政執行法ヲ當嵌メタイト云フ目的デアリマス、ナゼ斯ノ如キ案ヲ提出シタカト

云フ、理由ノ一端ヲ申シマスレバ、各市町村ニ於テモ同様ニ、不便ヲ感シテ居ルヤウデアリマスルガ、殊ニ東京市ノ一大事業タルトコロノ、市區改正ノ執行ニ付イテ、非常ニ不便ヲ感シテ居リマス、市區改正ヲ致シマスルニ當タテ、道路取擴ゲノ線路ニ當タテ居ル家屋ニ、移轉料ヲ給シテ他ニ移ラシメ、若クハ市民カラ之ヲ買上ゲルト云フコトヲ致シテ居ルノデアリマスガ、市役所ハ行政執行法ノ範圍ノ外ニ置カレテアリマスルガタメニ、是マテノ經驗ニ依リマスルト、移轉料ヲ約束シテ本人望通ノ移轉料ヲ給與致シテモ、ソレヲ受取シタマ、立退カサルモノガアル、一二年間立退カズニ居ルト云フノガ、十中九マデソレデアリマス、殊ニ甚シキニ至ダヘ、移轉料ヲ受取シテカラ、二箇年位立退カズニ居ルト云フモノモノアリマス、其間ノ地料モ拂ハズ、地料ヲ全ク私シテシマフノミナラズ、甚シキニ至ダヘ、隣ニ良民ガアズテ、約束通り退イテシマヒマスルト、其所ヘ建増ナドヲ致シテ、住シデ居ル者モアリマス、斯ノ如キ場合ニ於テ如何トモスベキ途ガ、今日ハ開ケテナインデアリマス、但昔ノ特別市制ノアツ時分ニハ、東京市ノ如キハ、東京府知事が市長デアリマシタ故ニ、ヤハリ其場合ニ於テ行政執行法ノ利用ガ、出來タヤウデアリマスケレドモ、分離シテ以來、今日マテ少シモサウ云フ場合ニ於テ、何トモシヤウガナイ、當ニ市區改正ノミナラズ、他ノ市町村ニ於テモ、必ズ營造物ヲ持テ居ルノデアリマセウガ、營造物ヲ人ニ貸シマシテモ、或期間ニ於テ貸シタ場合ニ於テ、之ヲ約束通取上ケルトカ、或ハ公共ノ必要上之ヲ元ニ戻サウシテモ、其處ニ居ルモノガ、頑強ニシテ動カナケレバ、何レノ市町村モ、何トモ手ノ著ケヤウガナイト云フ、實況ニ陷テ居ルノデアリマス、故ニ此「官」ノ字ヲ除イテ、左様ナ場合ニ於テハ、市町村モ亦他ノ行政官廳ト同ジ公力ヲ以テ、其後ヲ善クスルタメノ途ヲ開キタイト云フ目的デ、此案ヲ提出致シマシタノアリマス、故ニ願クハ諸君ノ御賛成ヲ求メマス

○恵松隆慶君(百五十九番) 此案ハ九名ノ委員、議長ノ指名ナランコトヲ望ミマス
(「贊成々々」ト呼フ者アリ)
○議長(松田正久君) 恵松君ノ動議、議長指名ノ九名ノ委員ニ付託スルト云フコト
デアリマスガ、御異議ハアリマセヌカ

○議長(松田正久君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、其通決定致シマス、第一十五民事訴訟法

二十六マテハ、提出者ニ此際理由ヲ略シテ、一十四ハ九名ノ委員、二十五、二十六ダケハ、十八名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス、提出者ハ説明ダケラ省略スルコト

第一十三 行政執行法中改正法律案(尾崎行雄君外 第一讀會)

行政執行法中改正法律案

○議長(松田正久君) 提出者ヨリ理由ヲ述ブルト述ベサルトハ、提出者ノ意見ニ任せル方が宜シイ、先ツ議事日程ノ第二十四狩獵法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

ニ――

第一十四 狩獵法中改正法律案(森肇君外一名提出) 第一讀會

狩獵法中左ノ通改正ス

同條第二項中「免狀」ノ下ニ「竝標章」ヲ加フ

第十條 削除

第十一條中「甲乙」各種ニ付「ヲ削ル

第十二條第一項中「免狀」ノ下ニ「竝標章」ヲ加フ

同條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

地方長官ハ土地ノ狀況ニ依リ農商務大臣ノ認可ヲ經テ前項ノ期間ヲ三十日以内ニ於テ伸長スルコトヲ得

同條第二項中「前項」ヲ「前二項」ニ改ム

第十三條中「免狀」ノ下ニ「竝標章」ヲ加フ

第十四條第一項ヲ左ノ如ク改ム

獵者ハ出獵ノ際免狀ヲ携帶シ且標章ヲ外部ニ現ハシテ佩用スヘシ

同條第二項及第三項中「免狀」ノ下ニ「竝標章」ヲ加フ

第十五條中「免狀」ノ下ニ「竝標章」ヲ加フ

第十六條 十八歳未滿ノ者ハ狩獵免狀竝標章ヲ受クルコトヲ得ス

第十七條中「免狀」ノ下ニ「竝標章」ヲ加フ

第二十一條中「第十一條第二項」ヲ「第十一條第三項」ニ改メ「免狀」ノ下ニ「竝標章」ヲ加フ

第二十一條第二項中「免狀」ノ下ニ「竝標章」ヲ加フ

○恵松隆慶君(百五十九番) 是ハ九名ノ委員、議長指名ヲ願ヒマス

○議長(松田正久君) 御異議ガナケレバ、其通決定致シマス、第一十五民事訴訟法

中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、議案ノ朗讀ハ省略致シマス

